

第七十九回 帝國議會衆議院

日本勸業銀行法中改正法律案外五件委員會議錄(速記)第二回

會議

昭和十七年二月四日(水曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君

理事小笠原八十美君 理事駒井 重次君

理事深澤 吉平君 理事石坂 豊一君

飯田 助夫君 岡本實太郎君

金澤 正雄君 木村 淳七君

篠原 陸朗君 土田 莊助君

中野 治介君 藤本 捨助君

松田 正一君 三木 武夫君

吉植 庄亮君 片山 哲君

北 咲吉君 川俣 清音君

瀧澤 七郎君 西尾 末廣君

一月三十一日會計法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレ

出席政府委員左ノ如シ
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省銀行局長 山際 正道君
大藏省督局長 原口 武夫君
大藏書記官 櫛田 光男君
大藏書記官 伊原 隆君
農工銀行及ビ北海道拓殖銀行ハ何レモ設立

マス
○谷口政府委員 本委員會ニ付託ト相成リ
ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シ
マシタ日本勸業銀行法中改正法律案外六件
府ノ御説明ヲ拜聽シタイト思ヒマス

日本勸業銀行法中改正法律案外六件ノ政府
提出案ガ掛ツテ居ル譯アリマガ、先づ政
府ノ御説明ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○由谷委員長 是ヨリ委員會ヲ開キマス、
日本勸業銀行法中改正法律案外六件ノ政府
提出案ガ掛ツテ居ル譯アリマガ、先づ政
府ノ御説明ヲ拜聽シタイト思ヒマス

日本勸業銀行法中改正法律案外六件
貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレ
タリ
出席政府委員左ノ如シ
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省銀行局長 山際 正道君
大藏省督局長 原口 武夫君
大藏書記官 櫛田 光男君
大藏書記官 伊原 隆君
農工銀行及ビ北海道拓殖銀行ハ何レモ設立

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

農工銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

社債等登録法案(政府提出、貴族院送付)

會計法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)

稅務代理士法案(政府提出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

以來順調ナル發達ヲ遂ゲ、其ノ基礎ハ強化セ
ラレ、資金供給ノ能力ハ相當大ナルモノガ
アリマスガ、是等ノ銀行ノ業務ニ對シテハ、
現行法上尙ホ相當嚴重ナル制限ガ設ケラレ
テ居ルノデアリマス、然ルニ軍需產業其ノ
他時局產業ニ對スル事業資金ノ供給ノ圓滑
ヲ圖ル必要ハ、頗る緊切ナルモノガアリマ
シテ、是等ノ銀行ヲシテ時局ニ即應シ、其
ノ豐富ナル資金ヲ以テ事業金融ノ疏通ノ爲
メ、遺憾ナキ活動ヲナサシムル爲ニハ、現行
法律ニ定メラレテ居リマスル是等ノ銀行ノ
業務ニ對スル諸制限中ノ或モノハ、之ヲ
撤廢又ハ緩和スル必要ガ認メラレルノデア
リマス

○由谷委員長 是ヨリ委員會ヲ開キマス、
日本勸業銀行法中改正法律案外六件ノ政府
提出案ガ掛ツテ居ル譯アリマガ、先づ政
府ノ御説明ヲ拜聽シタイト思ヒマス

第一ニ國家總動員法ニ基ク融資命令ヲ、是
等ノ銀行ガ受ケマシタ場合ニ付テモ、右ト
同様ニ法律上ノ制限ガアリマス爲メ、命令
ノ實效ノ舉ガラナイ虞モアリマスノデ、既
ニ申上ゲマシタ諸制限ヲ撤廢スルノ外、大
藏大臣ノ認可ヲ受ケ、短期ノ無擔保貸出ヲ
ナスコトヲ新タニ認メ、緊急ノ需要ニ應ジ
得ルノ途ヲ開クコトト致シタノデアリマス

第三ニ是等ノ銀行ガ他ノ金融機關ト共同
シテ、時局金融ヲナサントスル場合ニモ、
種々支障トナル制限ガアリ、特ニ貸付ノ擔
保ハ一番抵當アルコトヲ要スル制限ハ障
碍トナリマスノデ之ヲ緩和シ、新舊貸付金
額ヲ合シ、鑑定價格ヲ超エナイ時ハ、貸付
ヲナシ得ルコトニ改シタノデアリマス

第四ニ現在無抵當貸付先ハ法律ニ列舉セ
ラレルモノニ限定セラレテ居リマスガ、之
ヲ擴張シ、時局ノ要請ニ應ジテ新設セラレ
ル特殊法人、組合等ニ對シテモ、無抵當貸付
ヲナシ得ルノ途ヲ開クコト致シタノデア
リマス、尙ホ北海道拓殖銀行ノ業務ニ付テ
ハ、第一乃至第三ノ點ハ從來カラ制限ガナ
イノデアリマシテ、今回改正致シマスルノ
ハ此ノ最後ノ點ノミデアリマス

次ニ國民貯蓄組合法中改正法律案ニ付キ

付託議案
日本勸業銀行法中改正法律案(政
府提出貴族院送付)(第六二號)
農工銀行法中改正法律案(政
府提出貴族院送付)(第六三號)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政
府提出貴族院送付)(第六六號)
稅務代理士法案(政
府提出貴族院送付)(第六七號)
社債等登錄法案(政
府提出貴族院送付)(第七九號)
會計法戰時特例案(政
府提出貴族院送付)(第七九號)

爲メ、購買力ノ吸收ト戰時資金ノ蓄積トニ一層ノ努力ヲ必要トスルコトハ、御説明申上加ヲ、更ニ一層促進シタイト存ジマシテ、茲ニ本法案ヲ提出致シタ次第アリマス。其ノ改正ノ要點ヲ擧ガマスレバ、第一、ハ國民貯蓄組合ノ斡旋ヲナス貯蓄ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、新タニ地方債又ハ社債ノ買入ヲ追加シタ點デアリマス、現下ノ情勢ニ於テ地方債又ハ社債ノ買入ハ、國債ノ消化ト共ニ重要性ヲ有シ、且ツ是等ハ安全ナル投資物デアリマスカラ、組合貯蓄トシテ適當ト認メタノデアリマスガ、其ノ買入ルベキ地方債又ハ社債ニ付キマシテハ、例ヘバ命令ヲ以テ既往一年以内ニ發行サレタモノト云フヤウニ限定スル考ヘデアリマス。

第二ハ免稅規定ノ改正デアリマシテ、從來ハ貯蓄ノ種類ニ依ツテ免稅ノ限度ニ差別ヲ設ケテ居リマシタガ、等シク國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依リマシタ貯蓄デアル以上、異ツタ取扱ヲナスコトハ適當デナイト認メマシテ、此ノ際之ヲ同一ニ取扱フコトニ改メタ次第アリマス、國民貯蓄ハ今後相當ノ増強ヲ必要トル状態ニアリマスガ、其ノ手段トシテ組合貯蓄ノ増加ヲ圖リマス爲ニハ、或る程度ノ免稅限度ヲ引上ガ必要デアリマスカラ、今回郵便貯金ノ預入限度引上等トノ關係ヲモ考慮致シマシテ、其ノ免稅トナルベキ元本又ハ額面金額ヲ、一律ニ七千圓ニ引上ゲルコトニ致タノデアリマス。次ニ稅務代理士法案ニ付キ御説明致シマス、最近社會經濟情勢ハ、愈、複雜多岐ニ瓦リマシテ、之ニ伴ヒ稅務行政ノ運行竝ニ國

參ツタノデアリマスガ、殊ニ戰時下ニ於ケル財政需要ノ増加ニ伴ヒ、相次イデ屢次ノ增稅ヲ行ヒ、更ニ今回增稅等ノ措置ヲ行フコト致シマシタ爲ニ、此ノ傾向ハ今後一段ト加重セラルモノト認メラレルノデアリマス、隨ヒマシテ稅務行政ノ適正ナル運營ニ努ムルコトハ、現下喫緊ノ要務デアルト思フノデアリマス、此ノ見地ヨリ致シマシテ新タニ稅務代理士法ヲ制定シ、新タニ稅務代理士ノ制度ヲ設ケ、其ノ素質ノ向上ヲ圖ルト共ニ、是等ノ者ニ對スル取締ノ徹底ヲ期シ、之ニ依リ戰時ニ於ケル稅務行政ノ圓滑ナル運用ニ資セントスルノデアリマス

之ヲ禁止スルコト致シタノデアリマス
第三ニ税務代理士ヲシテ自治的ニ品位ノ
保持、税務代理業ノ進歩、改善ニ資セシム
ル爲メ、原則トシテ各財務局ノ區域内ニ税
務代理士會ヲ設立セシメ、其ノ區域内ノ税
務代理士ハ總て之ニ加入スルコトヲ要スル
コト致シマシタ、而シテ税務代理士會ヲ
シテ十分其ノ機能ヲ發揮セシメル爲メ、税
務代理士ノ受クベキ報酬額ヲ決定シ、又強
質ナル會員ノ退會處分ヲナシ得ル權限ヲ認
メタノデアリマス

資スル所モ尠クナイト存ズルノデアリマス
次ニ本法案ニ於キマスル登録制度ノ概要
ヲ申上ガマスルト、先づ社債等ノ登録ハ勅
令ヲ以テ定ムル法人、即チ登録機關ヲシテノ
ヲ取扱ハシムルコト致シタノデアリマス
ガ、登録機關トシテハ社債等ノ取扱ニ慣熟
致シテ居リマスル銀行、信託會社等ヲ指定
致ス見込デアリマス、登録ハ社債權者ノ讀
求ニ依ツテ之ヲナスコトト致シマスルト共
ニ、社債權者ハ何時ニテモ其ノ登録ノ抹消
ヲ請求シ得ルコト致シマシタ、即チ社債
權者ノ便宜ヲ考慮致シマシテ、登録抹消共
ニ社債權者ノ自由ニ任セタ次第ニアリマス、
尙ほ登録ヲナシタル社債ニ付キマシテハ、
債券ヲ發行スルコトヲ要スルコトト致シマ
スルト共ニ、登録機關ガ既發ノ社債ニ付キ
マシテ登録ヲ致シマスル時ハ、其ノ債券ヲ
回収スルコトヲ要スルコトト致シマシテ、
權利關係ノ紛淆ヲ避ケルコトト致シタノデ
アリマス

トヲ得ザルコト致シタノデアリマス、登録機關ハ社債登錄簿ヲ備へ置キ、之ニ登錄ヲナスコトヲ要スルコト致シタノデアリマシテ、嚴重ニ是ガ取締ヲナス必要ガアリマスカラ、政府ハ登錄事務ニ關シ之ヲ監督スルコトト致シマスト共ニ、登錄事務ニ從事スル登錄機關ノ職員ハ之ヲ公務員ト看做スコトト致シマシタ、本法ニ依リ登錄ヲナスコトヲ得ベキ社債等ノ範圍、商法ノ適用ヲ受クル會社ノ發行スル社債ノ外、外地債、特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ會社ニアラザルモノノ發行スル債券、即チ各種ノ營團債券、金庫債券等ニモ本法ヲ準用シテ登錄ヲ受ケ得ルヤウニ致シタノデアリマス。

尙ホ滿洲國國債及ビ滿洲國法人ノ發行スル社債ニ付キマシテモ、將來命令ヲ以テ指定シテ登錄ノ途ヲ開クコトニ致シタイト存ズル次第アリマス。

最後ニ會計法戰時特例案ニ付キ説明致シマス、支那事變發生後、昭和十二年勅令第五百八十四號ニ依リ會計規則ノ特例ヲ設ケマシテ、資金前渡、前金拂、概算拂又ハ隨意契約ヲナシ得ル範圍ヲ擴メ、次イデ昭和十三年法律第十六號及ビ之ニ基ク同年勅令第二百六十二號ニ依リ、軍ノ需要充足ノ爲メノデアリマスガ、支那事變ハ漸次發展シテ遂ニ大東亜戰爭トナルニ至リマシテ、戰線擴大スルト共ニ、國內經濟事情モ一層戰時性ヲ濃厚ニ現ハシテ參リマシタノデ、從

來陸海軍ノ需要充足ノ爲ノ必要アル場合ニ
限リ認マラレテ居リマシタ前金拂又ハ概算
拂ヲ、陸海軍以外ノ官廳ニ於テモ國防上必要
ナル工事ヲナス場合等ニ付キマシテハ之ヲ
認ムルヲ適當トシマスノト、前金拂又ハ概算
算拂ノ方法ニ代ヘマシテ、政府ガ手形保證
ヲナシ之ニ依ツテ金融ノ途ヲ講ズルコトモ
必要ト相成リマシタノト、其ノ他陸海軍ノ
出納官吏ノ辨償責任ノ解除方法ニ關スル特
例ヲ設ケ、陸海軍大臣ノ認定ニ依リ迅速ニ
責任ノ有無ヲ認定スルノ途ヲ開キマスルトコ
共ニ、陸軍ノ見習士官又ハ海軍ノ候補生ヲ
シテ出納官吏ト同様ノ資格ヲ與ヘ得ルコト
トシ、戰時ノ實情ニ即スルヤウ措置スルコ
トト致シマス等ノ爲メ、本法律案ヲ提出致
シマシタ次第アリマス

スル所ハ、從來ノ稅務代理業務ヲ營ンデ居
ル者、從來稅務代理業務ヲ營ンデ居
言葉ニ言ツテ居リマシタガ、此ノ從來ノ稅
務代理業務ヲ營ンデ居者ハ、納稅者ノ權利
利擁護ヲ爲メト云フコトヲ唯一ノ目的トシ
テ居ツタ、併シナガラ此ノ法律案ノ精神ハ、
唯單ニ納稅者ノ權利ヲ擁護スルト云フヤウ
ナ立場カラ此ノ法律案ヲ御提案ニナツタモ
ノデハナイト思フノデアリマシテ、新タニ
出來マス稅務代理士ト云フモノハ、一面ニ
於テハ納稅者ノ指導者トナリ、他ノ一面ニ
於キマシテハ稅務當局ノ協力者トナル、言
葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、或ル意味ノ補助
機關トシテノ役目ヲ果サシメタイト云フコト
トガ御提案ノ御趣旨デハナイカト思フノデ
アリマスガ、此ノ點ニ關スル御説明ヲ一ツ
御願ヒ致シマス

ントスル政府ノ御趣旨ハ了解致シマシタ、其ノ趣旨カラ考ヘテ見マシテ、稅務代理士ノ資格ノ點ニ付テ御伺ヒシテ見タイト思フスガ、此ノ中、第三號ノ「命令ヲ以テ定ムル官廳ニ於テ高等官又ハ判任官ノ職ニ在リテ三年以上國稅ノ事務ニ從事シタル者」ト云フ、一項ガゴザイマス、之ニ依リマスト、恐ラクハ大藏省主稅局ニ三年以上勤務シタルカ、或ハ財務局、或ハ稅務署ニ三年以上勤務シタ者ハ此ノ資格アリト云フコトダント思フノデアリマスガ、稅務代理士ノ品位ニ失スルノデハナイカト思フノデアリマス、又他ノ見方ヲ以テ致シマスレバ、稅務署ニ三年判任官ヲ勤メレバ、稅務代理士タルノニ失スルノデハナイカト思フ、サウスルト唯サヘ人員ガ不足デ困ツテ居リマス所ノ稅務官吏ガ、續々トシテ稅務代理士ノ方面ニ資格ヲ獲得スルコトガ出來ル、サウスルトカト云フヤウナ虞モアリマス、何レノ點カラ見マシテモ、三年位稅務署デ稅務ノ經驗ヲ經タト云フ程度デハ、甚ダ素質ノ上ニ於テモ缺クル所ガアルヤウニ思ヒマス、モウ少シ五年トカ十年トカノ経験ガ必要デハナシカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、

○池田(勇)政府委員「命令ヲ以テ定ムル官廳ニ於テ高等官又ハ判任官ノ職ニ在リテ三年以上國稅ノ事務ニ從事シタル者」斯ウナツテ居リマスガ、是ハ計理士ノ資格トノ關係ヲ考慮致シマシテ決メタノデアリマス、御

說ノ通リ大藏省、財務局或ハ稅務署ニ主掌ニ

三年程度勤務シタノデハ、立派ナ稅務代理士ドシテノ仕事ヲシテ行ク上ニ於テ缺クル所ガアリハシナイカ、此ノ點モ考ヘラレマスノデ、大藏大臣ニ於テ稅務代理士ヲ許可致シマス時ニハ、其ノ人ノ能力ヲ能ク審査致シマシテ、過誤ナキヲ期スル積リデアリマス、又第一ノ、三年稅務署ニ居ツタナラバ直グ、稅務代理士ノ資格ヲ得ルト云フコトニナレバ、非常ニ轉換者ガ多クナリハシナ致ジマス場合ニ於テ大藏省ニ於テ善處シタイト思ツテ居リマス

○駒井委員 第四號ニアリマスル「前各號ニ掲タル者ノ資格ヲ得ルト云フコトニカ、此ノ點モ稅務代理士タルコトヲ許可致ジマス場合ニ於テ大藏省ニ於テ善處シタ

○駒井委員 第二條ノ第一號乃至云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 第二條ノ第一號乃至云フヤウナ者ガアルノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 第二條ノ第一號乃至云フヤウナ者ガアルノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○池田(勇)政府委員 第二條ノ第一號乃至云フヤウナ者ガアルノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○池田(勇)政府委員 第二條ノ第一號乃至云フヤウナ者ガアルノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○池田(勇)政府委員 第二條ノ第一號乃至云フヤウナ者ガアルノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此ノ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ中ニ入ルノデアリマセウカ

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

識經驗ヲ有スル者」ト云フノハ中々判斷ガ難カシイノデアリマシテ、是ハ勿論銓衡委員會ニ掛ル譯デアリマセウガ、何等カ標準イカ、此ノ點モ考ヘラレマスノデ、大藏大臣ニ於テ稅務代理士ヲ許可致シマス時ニハ、其ノ人ノ能力ヲ能ク審査致シマシテ、過誤ナキヲ期スル積リデアリマス、又第一ノ、三年稅務署ニ居ツタナラバ直グ、稅務代理士ノ資格ヲ得ルト云フコトニナレバ、非常ニ轉換者ガ多クナリハシナ致ジマス場合ニ於テ大藏省ニ於テ善處シタイト思ツテ居リマス

○池田(勇)政府委員 多年稅務代辦業ヲヤツテ居ラレル方ハ、附則ニ依リマシテ此ノ資格ヲ當然得ルコトニナリマス、從來ズット長

ク稅務代辦業ヲヤツテ居ラレル方ニ付キマシテ、本法施行ノ時ニ廢メテ居ラレル方ニ付キマシテ、モ、同様其ノ四號ニ入ルト考ヘテ居リマス、

次ニ「學識經驗ヲ有スル者」ト云フ者ノ標準ノ問題デアリマスガ、是ハ言葉ヲ以テハツキリ申上げルコトハ出來マセヌガ、他ノ法

令ニモ斯ウ云フ例文ヲ持ツテ居リマスノデ、

學識經驗アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、銓衡委員會ニ於テ決メタイト思フノ

デアリマス

○池田(勇)政府委員 命令案要綱ヲ御配リシテ置キマシタガ、其ノ中ニ命令ヲ以テ指

定シマス租稅ニ臨時利得稅、相續稅等トシテ居リマス、尙ほ考ヘテ居リマスコトハ、

特別法人稅或ハ外貨債特別稅、稅務署ニ於テ賦課課稅ヲスル稅ニ限リタイト思ツテ居リマス、其ノ他ノ租稅ニ付キマシテハ、稅務代理士ノ手ヲ煩ハスヤウナ事例ガ少イモノ

デアリマスルカラ、國稅ニ付キマシテモサウ云フ風ナ特定ノ租稅ニ限リタイト思ツテ居リマス

○駒井委員 業務ノ範圍ニ付キマシテハ、

或ハ辯護士或ハ計理士ナドト重複ヲスルヤウナ點ガアルヤウニ思ハレル、例ヘバ稅法

マスガ、是ハドウ云フ譯デ此ノ條文ヲ御設ケニナツタノデアリマスカ、所得調査委員

カ云フヤウナ規定ガアツタト思フノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デ此ノ條文ヲ御設

ケニナツタノデアリマスカ、所得調査委員

デアレバ、日本全國何處ノ問題ニ付テモ稅務代理業ヲ營ムコトガ出來ナイト、斯ウ云

フ意味ニ解シテ宜シイカ

○池田(勇)政府委員 御答ヘ致シマス、所

得調查委員ガ稅務代理士ヲ兼ネルト云フコトハ制度トシテ宜クナイト考ヘマシテ、所

テ相談ヲ受ケルト云フコトハアリ得ルト思

税」トスウ書イテゴザイマスガ、此ノ「命令ヲ以テ定ムル租稅」ト云フノハ、臨時利得稅或ハ相續稅等デアルト云フコトハ此處ニ資料ヲ戴イテ分ツタノデアリマスケレドモ、其ノ他ノ租稅ニ付テハ稅務代理士業務ト云フモノハ存在シナエト云フ御考ヘデアリマスカ

○池田(勇)政府委員 命令案要綱ヲ御配リシテ置キマシタガ、其ノ中ニ命令ヲ以テ指

定シマス租稅ニ臨時利得稅、相續稅等トシテ居リマス、尙ほ考ヘテ居リマスコトハ、

特別法人稅或ハ外貨債特別稅、稅務署ニ於

テ賦課課稅ヲスル稅ニ限リタイト思ツテ居リマス、其ノ他ノ租稅ニ付キマシテハ、稅務

代理士ノ手ヲ煩ハスヤウナ事例ガ少イモノ

デアリマスルカラ、國稅ニ付キマシテモサウ云フ風ナ特定ノ租稅ニ限リタイト思ツテ居リマス

○駒井委員 業務ノ範圍ニ付キマシテハ、

或ハ辯護士或ハ計理士ナドト重複ヲスルヤウナ點ガアルヤウニ思ハレル、例ヘバ稅法

マスガ、是ハドウ云フ譯デ此ノ條文ヲ御設

ケニナツタノデアリマスカ、所得調査委員

デアレバ、日本全國何處ノ問題ニ付テモ稅務代理業ヲ營ムコトガ出來ナイト、斯ウ云

フ意味ニ解シテ宜シイカ

○池田(勇)政府委員 御答ヘ致シマス、所

得調查委員ガ稅務代理士ヲ兼ネルト云フコトハ制度トシテ宜クナイト考ヘマシテ、所テ相談ヲ受ケルト云フコトハアリ得ルト思

フ、又計理士ガ計理ノ結果ニ付テ、或ハ稅額ノ算出方法ニ付テ相談ヲ受ケルト云フコ

トモアリ得ルト思フノデアリマスガ、此ノ辯護士、計理士トノ業務ノ範圍ニ付テハ更

ニ重複スルヤウナコトハナイト云フ御考ヘ

デアリマセウカ、此ノ點ヲ一つ伺ツテ置キ

タ

○池田(勇)政府委員 稅務代理業トハ一條ニ規

定シテアリマスルヤウニ、特定ノ租稅ニ

シテ稅務官廳ニ提出スル書類ヲ作成シ、又

ハ審査ノ請求、訴願ノ提起等ニ付キマシテ

○駒井委員 私ノ御尋ねシマシタノハ、其ノ他稅務代理業務ヲ永年營んで居ツタヤウナ者ハ、學識經驗アル者ノ中ニ入りマスカ

ト云フコトヲ伺ツタ譯デス、ソレカラ「學

士ドシテノ仕事ヲシテ行ク上ニ於テ缺クル所ガアリハシナイカ、此ノ點モ考ヘラレマスノデ、大藏大臣ニ於テ稅務代理士ヲ許可致シマス時ニハ、其ノ人ノ能力ヲ能ク審査致シマシテ、過誤ナキヲ期スル積リデアリマス、又第一ノ、三年稅務署ニ居ツタナラバ直グ、稅務代理士ノ資格ヲ得ルト云フコトニナレバ、非常ニ轉換者ガ多クナリハシナ致ジマス場合ニ於テ大藏省ニ於テ善處シタイト思ツテ居リマス

代理ヲナシ、或ハ相談ニ應ズルコトヲ業トシテ居ルノデアリマス、サウシテ又辯護士ガ本來ノ職務ノ一部トシテ稅法ノ鑑定ヲナス仕事ヲ持ツテ居リマス、然ラバ辯護士ガ稅法ノ鑑定ヲシタ場合ニハ、稅務代理士法ノ一條ノ特定ノ租稅ニ關シ相談ニ應ジタコトト一緒ニナリハシヂイカト云フ疑問ノ點ガ起ルノデアリマス、吾々ノ解釋ト致シマシテハ、辯護士ガ其ノ本來ノ職務ノ一部トシテ、稅法ノ解釋ニ付テ鑑定ヲ致シマスコトハ、稅務代理士法ニ抵觸シナシテアリマスルカラ、國稅ニ付キマシテモサウ云フ風ナ特定ノ租稅ニ限リタイト思ツテ居リマス

○駒井委員 所得稅法ノ改正案ノ中ニ、稅務代理士ハ所得調査委員タルコトヲ得ズト

本來ノ職務トシテ計算事務ヲ取扱ツテ居リマス、其ノ計算事務ニ附隨致シマシテ稅務

コトハ稅務代理士法ノ第一條ニ抵觸シナフ考ヘラ持ツテ居リマス、又計理士ハ其ノ

本來ノ職務トシテ計算事務ヲ取扱ツテ居リマス、其ノ計算事務ニ附隨致シマシテ稅務

當局ニ提出スル考課狀ナンカラ作ルト云フコトハ、稅務代理士法ノ第一條ニ抵觸シナ

コトハ、稅務代理士法ノ第一條ニ抵觸シナ

イ、唯計理士ガ稅務官廳ニ提出スルコトヲ

目的トシテ考課狀ヲ作リ、サウシテ色々ナ申告書、申請書ヲ作ツタ場合ニハ、是ハ第

一條ニ抵觸スル、斯ウ解釋シテ居リマス

○駒井委員 次ニ稅務代理士ハ大藏大臣ノ許可ヲ得ルコトガ必要ダト云フコトニナツ

テ居リマス、其ノ爲ニハ銓衡委員會ガ設ケ

ラレテ居リマス、大藏次官ガ會長トナリ、

其ノ他ノ役人ノ方ガ委員ニナラレルト云フコトニナツテ居リマスガ、辯護士、計理士

ノ資格ヲ持ツテ居ル人デアレバ、此ノ銓衡委員會ニ於テ必ス許可ヲ得ラレルノデアル

カ、或ハ從来此ノ稅務ニ關スル經驗トカ、

或ハ學識トカガナケレバ銓衡委員會ノ許可ハ得ラレナイト云フ風ニ考ヘテオイデナノ

デアリマセウカ、之ヲ先づ御示シ願ビタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 單ニ第二條ノ資格ヲ

有スルコトノミヲ以テ許可スル方針デハア

リマセヌ、隨ヒマシテ第二條ノ資格ヲ有シ、
多年稅務ニ携ハツテ居ルトカ、或ハ稅務ニ
關スル相當ノ知識ヲ有シテ居ルトカ、斯ウ
云フコトガ鎌衡ノ主タル要件ニナツテ居リ

○駒井委員 サウシマスト先ツ辯護士、計
理士ノ中デ從來多年稅務ニ經驗ヲ持ツテ居

ル人ニ限ラレルト云フ御答辯ノヤウニ承知致シマシタ、ソレナラバ大藏省ニ三年以上在官シタル者ハ先ヅ大體ニ於テ稅務ニ關スル經驗ト知識ヲ持ツテ居ル者デアル、サウニフ資格者ニ對シマシテハ、許可ノ申請ヲ出セバ、特別ナ缺格條項サヘナケレバ御許可ニナル、斯ウ云フ御考ヘデセウカ

○池田(勇)政府委員 先程ノ御答ヘガ簡單デ誤解ヲ招クトイケマセヌノデ附加ヘテ御答ヘ致シマスハ、銓衡ノ主タル要件ハ從來稅務ニ關シ相當ノ經驗、知識ヲ有スルコトヲ主トシテ考へマスルガ、茲ニ從來稅務代理業ヲシタコトガナイ、或ハ計理士デモナイト云フ風ナ辯護士ノ方ガ居ラレマス、其ノ方ガ稅法ニ關スル知識、會計ニ關スル知識ヲ御持チノ場合ハ、假令稅務代理人ノ經驗ガナクテモ政府トシテハ許可シテ差支ヘナイト。考ヘテ居リマズ、第二ノ大藏省ニ三年間居シモ稅ニ通曉シテ居ルトハ申サレマセヌ、又先程申上ゲマシタヤウニ命令ヲ以テ定ムル官廳ニ三年以上居レバ之ヲ許スカト云フコトニ付テハ、吾々トシテハ此ノ際ハ色々ナ事情ヲ綜合觀察致シマシテ認否ヲ決

○駒井委員 大體御趣旨ハ分リマシタガ、
一番問題ニナルノハ現在稅務代理業務ヲ營
ンデ居ル者、サウ云フ人々ガ果シテ此ノ法
案通過ノ曉ニ於テ銓衡委員會ノ銓衡ニ入り
得ルヤ否ヤト云フ點ガ一番重大ナル點デハ
ナイカト思ヒマス、從來多年稅務代理業務
ヲ營ンデ居ル者ニ對シマシテハ、大體ニ於
テ之ヲ許可スルト云フ風ニ御考ヘニナツテ
居ラレルノアリマスカ

○池田(勇)政府委員 現在稅務代理業ヲ營
ンデ居ラレル方ハ、之ニ依ツテ生活シテ居
ラレルモノト見ナケレバナリマセス、隨
テ今回稅務代理士法ヲ設ケタカラ白紙ニ還
ツテ其ノ人ヲ許可スルカ不許可ニスルカト
云フ風ニ、新タニ稅務代理業ヲ始メル人
ト同様ニハ考ヘマセス、從來ノサウ云フ營
業ヲ多分ニ許可認可ノ材料ト致シマシテ、
原則トシテハ從來營業シテ居ル方ハ許可ス
ル方針デ居リマス、唯最近不正事件ニ關聯
シマシテ、此ノ人ハ稅務代理士トシテ不適
當デアル、斯ウ云フ者ハ不許可ノ場合モア
ルト思ヘレマス

○駒井委員 次ニ稅務代理士會同ジク聯合
會ニ付テ伺ヒタインデアリマス、稅務代理
士會ハ此ノ法律案ニ依リマスト、財務局ノ
管轄内ニ各一ツト云フコトデ、財務局ガ七
ツアリマスカラ七ツ、ソレニ六大都市ニ別
ニツヅツ作ルト云フコトニナルト、十三
ノ稅務代理士會ガ必ズ設立セラレテ居ルヤウデ
アリマス、而モ是ハ稅務代理士會ヲ設立スベ
シト云フコトニナツテ居リマスノデ、十三
ノ稅務代理士會ガ豫想セラレテ居ルヤウデ
アリマス、而モ是ハ稅務代理士會ヲ設立スベ
シト云フコトニナツテ居リマスノデ、十三

○**池田(勇)政府委員** 財務局管轄區域毎ニ
稅務代理士會ヲ設ケ、別ニ新タニ六大都市
ニ是非トモ設ケナレバナラヌト云フコト
ニナツテ居リマス、現在稅務代理士業ヲヤ
ツテ居ル方々ノ數カラ見テ、十三ノ代理士
會ヲ設ケテモ不適當デハナイト考ヘテ居リ
マス

○**駒井委員 稅務代理士會ノ會則ハ主務大
臣ノ許可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リ
マスガ、大體ニ於テドウ云フ會則ノ中ニ規
定ヲ御設ケニナルノデスカ、何カ御示シヲ
願ヘレバ結構ダト思ヒマス**

○**池田(勇)政府委員 稅務代理士會ノ會則
ノ内容ニ付キマシテハ、今研究シテ居リマ
スガ、大體ニ於テ租ヒ所ハ報酬ノ點ヲ租ツ
テ居ルノデアリマス、其ノ他會長ノ選舉等、
色々々ナ會ノ組織機能ニ付キマシテモ規定シ
ヨウト思ツテ居リマスルガ、租ヒ所ハ報酬
ノ點ヲ主トシテ居リマス**

○**駒井委員** 只今報酬ノ話が出タノデ此ノ
際伺ツテ見タイト思フノデスガ、此ノ報酬
ニ關スル會則ハ稅務代理士ノ制度ノ將來ニ
對シマシテ、非常ニ重大ナル點デアルト思
フノデアリマス、餘リニ報酬ガ低キニ失
シマスレバ、稅務代理業務ノ存在ヲ危カラ
シメル、或ハ稅務代理士ノ品格地位ノ向上
ヲ困難ナラシメル、適當ナル才能ヲ有スル人
ガ稅務代理士タルコトヲ欲シナイト云フヤ
ウナ結果ニナルト思ヒマス、餘リ稅務代理

士ノ報酬ガ高イト云フコトニナリマスルト、
一般ノ納稅者ニ非常ナル迷惑ヲ掛ケル、是
ハ恐ラク稅務當局ノ希望セラレザル所デア
ルト思フノデアリマス、此ノ點ノ大體ノ標
準ヲ貴族院ノ委員會デモ質問ガアツタヤウ
デアリマスガ、何カ御考ヘガアレバ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 稅務代理士ノ報酬ニ
付キマシテハ、御説ノ通り高ケレバ納稅者
ガ御困リデゴザイマスシ、低ケレバ代理業
者ノ生活ヲ著威シ、品位ノ向上ヲ圖ルコト
ガ出來マセヌノデ、是ハ高カラズ安カラズ
決メナケレバナラヌト思ツテ居リマス、其
ノ點ニ付キマシテハ各地ノ從來ノ料金ヲ調
べマシテ、適當ナ所デ定メテ行キタイトと思
ヒマス、唯茲デ決マツテ居リマス方針ハ、
從來成功謝金ト申シマシテ、稅務代理士ガ
取扱ツタ事件ニ對シ、減額訂正其ノ他ニ依
リマシテ拂戻金ガアル場合ニ、其ノ拂戻ノ
二割、三割或ハ五割ヲ取ツタト云フヤウナ
成功謝金ニ付キマシテハ、此ノ際全然認メ
ナイ方針デ居リマス

○駒井委員 成功謝金ト云フ言葉ガ當ツテ
居ルカドウカ知リマセヌガ、減額ニ對スル
謝金ハ認メナイト云フコトニナリマスト、
稅務代理士ガ唯仕事ヲ扱ヘバ其ノ結果ガド
ウアラウトモ、之ニ對シテハ報酬ヲ取ルト
云フ結果ニナツテ、納稅者ノ側カラ見マス
ルト、異議ノ申請ヲシテ、其ノ異議ノ申請
ガ何等ノ結果ヲ得ナクトモ報酬ヲ拂ヘナク
テハナラスト云フ非常ナ矛盾ナヤウナ感じ
ヲスルノデアリマスガ、其ノ點ハドウ御考ヘ
デゴザイマスカ

モノガ多イト思フノデアリマス、隨テ過渡
時代ニ於キマシテハ駒井委員ノ御説ノ通り、
成功謝金ガ貰ヘナケレバ審査ノ請求、訴願
モノハ、先程申上ゲマジタヤウニツノ公
的機關的性質ヲ持ツモノデアリマシテ、稅
務官廳ノ宣傳機關デアル、所謂手助ケ機關
デアル、斯ウ云フ心構ヘヲ持ツテヤラナケ
レバナラヌ、又納稅者ノ利益ノ擁護機關デ
アルト云フ考ヘモ持ツテ戴カナケレバナリ
マセヌ、隨ヒマシテ成功謝金ト云フヤウナ
コトヲ望ムコトハ、稅務代理業本來ノ點力
ヲ申シマシテ如何カト思フノデアリマス
○駒井委員 今ノ減額ノ場合ノ謝金トカ、
或ハ異議ノ申請ガ通ツタ場合ノ謝禮ト云フ
コトバ、是ハ當然考ヘテヤルベキ問題ダト
思フノデアリマス、只今御話ノヤウニ稅金
ガ幾ラ負カツタカラ其ノ何割ヲ貰フト云フ
コトハドウカト思ヒマスケレドモ、異議ノ
申請ヲスル、ソレガ一つノ結果ヲ得タ場合
ト、全然結果ヲ得ナイ場合トガ同一ノ報酬
シカ取レヌト云フコトデハ、是ハドウモ一
ツノ業務トシテドウカト考ヘルノデアリマ
ス、只今御話ノ通リ成功謝金ト云フ言葉ハ
ドウモ一寸ドウカト思ヒマスケレドモ、減
額ニ對スル謝金、一つノ事件ガ結果ヲ得タ
コトニ對スル謝金ト云フモノハ、當然支拂
ヲ受ケテ差支ナイモノト考ヘラレマスガ、
此ノ點モウ一應御手數ヲ御願ヒシタイ
○池田(勇)政府委員 成功謝金ト云フコト
ノ定義ニアリマスルガ、私ノ申上ゲタノハ、
從來ノヤウニ減稅額ノ何割トカ、斯ウ云フ
稅ナ制度ハ全然認メナイト云フ考ヘデ居リ、

マヌ、唯事件ガ税務署ノ決定ガ宜クテ審査請求ガ相立タヌト云フ場合ト、或ハ審査請求ガ相當立ツテ、或ル程度納税者ノ言分ガ通ツタ、斯ウ云フ場合ハ區別シナケレバナラヌカトモ考ヘラレマス、サウ云フ意味ノ謝金ニ付キマシテハ手數料ノ意味モ相當アリマスノデ、今後研究シテ行キタイト思ヒマス

○駒井委員 松隈主税局長ハ、貴族院ノ委員會ニ於テハ今ノ成功謝金ヲ認メルヤウナ御答辯ガアツタヤウニ思フノデス、モウ一度御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

最後ニ經過規定ト申シマスカ、從來稅務代理業務ヲ營ンデ居ツタ者ガ、許可ヲ得ラレザル場合ニハ、四箇月間ダケ稅務代理業ヲ營ムコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ書イテアルヤウデアリマスガ、此ノ四箇月間ニ其ノ事件ガ終ラヌト云フ場合デモソコデ中斷シテシマハナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナ考ヘナンデセウカ

○池田(勇)政府委員 御説ノ通りデアリマス
○駒井委員 現在應召中デアツテ、稅務代理業ヲ營ンデ居ル者ガ事務員ヲシテ代行セシメテ居ル者ガアルサウデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、應召中ニ許可ヲ得ラレナイ場合ニハ、何カ特別ナ御扱ヒガ願ハレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 考慮スルコトニ致シマス

○駒井委員 私ハ大體稅務代理士法ニ付テ質問ヲ終ツタ譯デアリマスガ、尙ホ松隈主税局長ガ見エマシタラ、其ノ機會ニモウ一慶質問ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス、是デ打切りマス

○由谷委員長 次ハ中野治介君
○中野(治)委員 婦護士、計理士兩者トモ
本法所定ノ法律ノ效果ヲ擧グルマデハ自由ニ
同一ノ仕事ヲヤツテ居ツタト云フヤウナ次第
デアリマスルカラ、本法ノ解釋如何ニ依リマ
シテ、若シ矛盾スルト云フガ如キ解釋ニ立
至リマシタ場合ニハ、婦護士、計理士ト云
ツタヤウナモノ既得權ノ侵害ト云ツタ風
ナコトニナリマスカラ、只今マデノ駒井君
ノ詳細ナル質問デ盡キテ居ルヤウデアリマ
スルガ、他ノ角度カラ一、二御尋ネシタイ
ノデアリマス

シタヤウニ人形使ヒニ使ハレル人形ノ如ク、依頼者ノ依頼ノ趣旨ヲ根本義ト致シマシテ、代理士ノ自由意思ニ基クト云フヤウナコトハ許サナイト云フ意味デアリマスカ、シマスルニ付キマシテモ、訴願ノ提起ヲ致シルニ付キマシテモ、ソレハ會計ノ検査ヲシ、ハ勿論デアリマス、例へバ審査ノ請求ヲ致調査ヲナシ、計算ヲナシ整理ヲスルト云ツタヤウナスウシタ實質的ノ仕事ヲシナケレバ、本當ニ忠實ナ代理ノ仕事ハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ解セラレマスノデ、一應ノ解釋ト致シマシテハ、サウシタ實質的內容ヲ持ツテ居ル代理ト云フ意味デアリマスカ、其ノ點モ伺ヒタインデアリマス。

ソレカラ其ノ次ニ「若ハ相談ニ應ズル事業トス」トアル、吾々ノ通念カラ致シマスレバ、相談ト言ヘバ、其ノ相談ニ應ジテ議良ナ立場ニ於テ應答スルト云フノガ相談云アルト思ヒマスガ、サウスレバ茲ニ文字ハ違ツテ居リマスルガ、鑑定トドウ云フ差異ガアルノカ、計理士法ノ第一條ニハ「鑑定云々トスウアルガ、斯ウシタ同ジ官廳ノ監督ヲ受ケ、類似ノ仕事ヲ取締ル爲ノ法律ト仕致シマシテ、一方ニハ鑑定ト云フ文字ヲ使用、一方ニハ相談ト云フ違ツタ文字ヲ使ツテ居ルノデアリマスガ、文字ノ違フ如クシテノ内容モ違フト云フ意味デアリマスカ、御所見ガ伺ヒタイ

○池田(勇)政府委員 第一條ノ「書類ヲ作成シ」ト云フ意味ハ、單ニ人形使ヒノヤウニ納稅者ノ言フガ儘ニナルト云フ場合ノミヨク言フノデハアリマセヌ、作成スル人ノ意田モノソコニ加ハツテ宜イト思ツテ居リマス、

又第二點ノ代理ノ場合モ他ノ場合ト同様ナ
意味ニ使ツテアルノデアリマス、第三點ノ
相談ト鑑定ハドウ違フカト云フ問題デアリ

マス、是ハ吾々ノ方デハ大體同様ト心得デ
居リマス

○中野(治)委員 多分サウダラウトハ思ヒ
マシタガ、サウ致シマスレバ、辯護士ナリ計
理士ガ本條所定ノ仕事ヲ致シマス上ニ於キ
マシテ、矛盾ガ起キハシナイカト云フコト
ニ付テ、前ニ駒井委員カラ御尋ネガアリマ
シタガ、只今ノ法文解釋ノ方面カラ致シマシ
テ、辯護士ナリ計理士ガ今日マデナシ來ツ
タ書類ノ作成、代理、相談、鑑定、斯ウ云
ツタヤウナ仕事ヲ計理士法ノ許可ヲ受ケナ
イデ致シマシテモ、違法デナイト云フコト
ニ考ヘテ宜シマシノデゴザイマスカ、其ノ點
ヲ最モ明確ニシテ戴キタイソデアリマス

○池田(勇)政府委員 計理士ガ計理士本來

ノ仕事ト致シマシテ、會社ノ會計ノ計算ヲ

ハ、是ハ稅務代理士ト抵觸スル所ハアリマ

セヌ、唯計理士ガ本來ノ仕事ヲ超エマシテ、

稅務官廳ニ提出スペキ書類ヲ作成シタリ、

或ハ審査、請求、訴願ノ提起ヲ代理致シマシ

タリ、其ノ他稅務官廳ニ必要ナ申告書、申

請書ヲ作成シテ稅務官廳ニ出ス、斯ウ云フ

場合ハ稅務代理士法ノ許可ヲ得ナケレバナ

ラヌコトニナルノデアリマス

○中野(治)委員 第二條ニ「辯護士」トアリ

マスガ、申スマデモナク辯護士ハ法定ノ實

質的要件ヲ具ヘ、其ノ上ニ他面辯護士會ニ

加入シナケレバ、辯護士ノ職務ヲ執ルコト

ガ出來ナイノデアリマスガ、此處ニ言フ辯

護士ハ單ニ實質的ニ資格ヲ持ツテ居リマス

レバ宜イト云フ意味デアリマスカ、辯護士

会ニ加入致シマシテ、現ニ其ノ職務ヲ執リ

得ル立場ニアル辯護士ト云フ意味デアリマ

スカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ

○池田(勇)政府委員 第二條第一項ノ「辯

護士」ハ單ニ辯護士タル資格ヲ有スル者デ

護致シマシテ、現ニ辯護士タル資格ヲ有スル者デ

居ルノデアリマス

○中野(治)委員 モウ一ツ、法ノ解釋ハ時

ト人ニ依ツテ異ナルト云フノガ從來ノ例デ

アリマスノデ、現在ノ辯護士ナリ計理士ノ

立場ニ於キマシテハ、其ノ將來ヲ憂慮致シ

マシテ、安心ヲ致シマシテ其ノ業務ニ就キ

タイト云フ念願カラシテ、稅務代理士ノ許

可申請ヲスル者ガ多カラウ、其ノ方ガ賢明

ノ策デアリハシナイカト云フ風ニ考ヘラレ

ルノデ、辯護士ナリ、計理士ノ現在ノ立場

ニ稽ヘマシテ、斯ウ云フ點ヲ更ニ御伺ヒシ

タイノデアリマス、ソレハ先刻駒井君カラ

モ御尋ネガアツタヤウデアリマスガ、今申

シマスヤウナ其ノ立場カラ申シマスルト、

非常ニ必要ナコトデアリマスカラ御尋ネス

ルノデアリマス、此ノ稅務代理士ノ許可申

請ヲ現在ノ辯護士ナリ、計理士ガ今申シマ

タ事件ニ對シテ稅務代理士ノ仕事ヲヤツテ

リマスカ

○池田(勇)政府委員 此ノ條件ニ付キマシ

テハ、吾々トシテモ考慮シタノデアリマス

ガ、大體ノ抑ヘ所ハ自分ノ在職中ニ携ハツ

タ事件ニ對シテ稅務代理士ノ仕事ヲヤツテ

ハイケナイ、即チ携ハツタ事件ニ對シテ納

稅者ノ代理ヲサセナイト云フコトガ狙ヒ所

アルト云フ風ニ考ヘラレマスガ、其ノ點ノ

御所見ハ如何デアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 辯護士登録簿ニ登録

シテ居ル方ヲ全部稅務代理士トシテ許可ス

ルト云フコトハ、稅務代理士法ヲ設ケタ趣

旨カラ言ツテモ如何カト思ヒマス、隨ヒマ

シテ從來稅務代理士ノ業ヲヤツテ居ラレマ

ス辯護士、計理士ノ方ハ許可スル方針デゴ

タイト思ヒマス

○中野(治)委員 最後ニ稅務一般ニ關スル

質問デアリマスガ、所得稅申告ノ如キハ、

レナイスガ、從來サウ云フコトヲヤツテ居ラ

スカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ

ル所ト申告トガ餘リ大差ナイ時ニハ、假令

向フノ申告が少クトモソレニ依ルトガ、或ハ扶養家族ノ控除トカ或ハ保険料ニ付テモ申告ノナイ場合ニハ認メナイ、断ウ云フ制

度ヲ置キマシテ誠實ヲ申告ヲ要求シテ居ル

ノデアリマス、尙も誠實ナ申告ヲ要求スル
爲ニミウ少ソ粗脱士適當ナレ措置ヲ講ヅタ

蕉ニモウタシ種種」適當ナル指置テ詠シテ
ラドウカト云フ考ヘ方モアルノデアリマシ

テ、昔カラ吾々ノ所デ研究シテ居ルノデア

リマスガ今後トモ誠實ナル申告ヲシテ敷
クヤウニ出來ルダケ色々ナ方法ヲ講ジテ行

キタイト思ヒマス

○中野(治)委員 稅務代理士法ニ關スル先
刻來ノ御答説デ、ゴザイマスルガ、此ノ稅務

代理士法ノ所管官廳ハ内務省ニモアリ、司

法省ニモ關係ヲ持ツコトト考ヘルゾデアリ
マスレガ、只今マヂノ印答辭ハ、司法省ナ

リ内務省ヲ一貫致シマシタ不動ノ解釋トシ

テ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

池田(勇)政府委員 稅務代理士法ノ所管
ハ、税務代理士ノ取扱フ仕事ガ國稅ニノミ

限ラレテ居リマス關係上大藏省所管トシタ

イト思ヒマス、サウシテ銓衡委員會ノ構成ニ付キマシテハ、司法省、法制局其ノ他ノ

關係官廳ノ方ヲ銓衡委員トスル見込デゴザ

イマス
一晩具ノシノハ法ニ皆手

中野(清)委員 一番懶^{レル}ノノ注ニ背キ
處罰ヲ受クルト云フ 點ニアルノデアリマス

ガ、サウ云フ點ハ内務及ビ司法省ニ關係致

シマスノテ、特ニ御尋ねシタノハ其ノ點ニア
ルノデアリマス

○池田(勇)政府委員 罰則ノ規定ノ適用ニ

付キマシテハ、是ハ勿論司法省ノ方ト思ツ
テ居リマス

○中野(治)委員 ソコデ只今マデノ御答辯

○池田(勇)政府委員 稅務代理士法制定ニ付キマシテハ内務省トモ連絡致シテ、只今御答へ致シマシタヤウナ方針デ司法省、内務省モ諒解シテ居ラレルト思フノデアリマス
○由谷委員長 次ハ岡本實太郎君
○岡本委員 私モ税務代理士法案ニ付テ二三御尋ネ致シタイト思ヒマス、段々御尋ニナリマシテ、餘程趣旨ハ分リマシタガ、尙ホ疑ヒノ點ガアルノデアリマス、第一ニ此ノ税務代理士業ヲ許可制度トナサツテ、登録制度ニナツテ居ラヌヤウデアリマス、御承知ノ通り辯護士ハ一定ノ資格ノアル者カラノ登録制度デアリマス、辨理士モ亦登録制度デアリマス、似タヤウナ職業ニアツテ、外ノ仕事ハ一定ノ資格ニ依ツテ登録サヘスレバソレデ宜イ、斯ウ云フノニ拘ラズ、税務代理士ハ、一定ノ資格ヲ要求シテ、更ニ其ノ資格ノ中カラ許可ヲズル、斯ウ云フ法文ノ組織ニナツテ居ルヤウデアリマス、他ノ業務トノ釣合上餘程是ハ變ツテ居リマス、何故許可制度ニシテ登録制度ニシナカツタカ、此ノ趣旨ヲ一ツ伺ヒマスト云フコトモ一ツノ方法デアリマスルガ、シメルト云フコトヨリモ、一定ノ資格ヲ限
○池田(勇)政府委員 辯護士、辨理士ノ如ク、試験制度ヲ採用シマシテ、サウシテ試験ニ合格シタ人ヲ登録セシメテヤツテ行クト云フコトモ一ツノ方法デアリマスルガ、煩瑣ナル試験制度ヲ設ケ、サウシテ登録セス、何故許可制度ニシテ登録制度ニシナカツタカ、此ノ趣旨ヲ一ツ伺ヒマス

○岡本委員 御趣旨ハ分リマシタ、併シ先
刻モ駒井君 カラ 尋ネラレマシタヤウデス
ガ、命令ヲ以テ定ムル官廳ニ判任官トシテ
三年以上在職スレバソレデ資格ガアル、是
程寛大ニナツテ居リマス、而モ是ハ税務ニ
経験ノアル……斯ウ云フ趣旨ニアルヤウニ
承リマシタ、御尤モトハ思ヒマスガ、斯様
ニ範圍ヲ餘リ廣クシテ唯税務ニ依ツテ三年
以上ニナレバト云フコトデアルカラシテ、
可ナリ下ノ方デモ資格ハ當然アル、コンナ廣
イ範圍ニスルヨリモモウ少シ、寧ロ試験制
度デモ認メテサウシテ登録制度ニナツタ
方ガ宜イカト思フ、ト申シマスノハ、餘リ
此ノ範圍ガ廣過ギルト自然地位モ低下スル
シ、隨テ品位ヲ保ツコトナドモドウカト云
フ疑モ出来ルノデアリマス、又税務代理士
ヲスルノニハ、獨リ税法ノ解釋ノミナラズ、
實體法ノ商法トカ或ハ民法トカ乃至ハ民事
訴訟法トカ、行政訴訟法、是等ノ他ノ法規
ニ關係スルコトガ多分ニアルト思フノデ
ス、サウシマシタナラバ、試験制度デ獨リ
税法ノコトノミヲ試験セズシテ、民法、商
法、民事訴訟法乃至ハ行政訴訟法、斯ウ云
フコトモ混ゼテ、試験制度ニシテ、資格ヲモ
ウ少シ嚴選サレタラドウカ、斯ウ云フヤウ
ニモ考ヘマス、又サウスルコトガ地位ヲ向
上シ、品位ヲ向上スル所以デアルカノヤウ
ニ考ヘラレマス、此ノ點如何デゴザイマス

此ノ程度ガ適當ト考ヘタノデアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスルガ、稅務署ノ判任官ニ三年居ツダナラバ資格ヲ與ヘルト云フコトハ寛ニ流レハシナイカ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ計理士ハ専門學校令ニ依ル學校ヲ三年シタナラバ計理士タル資格ヲ有スルノデアリマス、是ハ専門學校令ニ依ルモノデアリマスルカラ、夜學デアツテモ何デアツテモ、ソコデ會計學ヲ修メレバ計理士ニナリ得ル、斯ウ云フコトカラ考ヘマシテ、稅務署ニ於テ三年以上稅務ニ携ツタナラバ、夜學ニ三年通ツテ會計學ヲ學ンダ者ト對等ニ資格ヲ與ヘテヤツテモ宜イゾデハナイカ、斯ウ云フ考ヘカラ來テ居リマス、隨ヒマシテ三年以上ト云フコトが最低限度ノ資格デアリマスルカラ、實際上稅務官吏ガ稅務代理士ノ許可ヲ申請致シマシタ時ニハ、篤ト其ノ者ノ能力ヲ考ヘマシテ、單ニ三年以上ト云フコトダケデ許スト云フ風ナ氣持ハ持ツテ居ナイノデアリマス、計理士ニ致シマシテモ、計理士ノ資格ヲ登録シテ居ル者ハ、一万以上モゴザイマスルガ實際ノ計理士ノ仕事ヲヤツテ居ルノハ其ノ割ニモ足ラヌト云フ實情デアリマスノデ、單ニ試驗其ノ他ノ方法デ資格ヲ與ヘ、サウシテ登録シタナラバ稅務代理士業が出來ルト云フヤウナ制度ハ、少シ監督上不十分デソレダカラ許可制度ニシタ、斯ウ仰セラレマスガ、今ノ當局ガ御仕事ニ携ハレル内ハ中々容易ニ許可モサレマスマイカラソレデ宜シイケレドモ、五年、十年、二十年過

ギル内ニ、漸次ソレガ弛ミシテ、許可ノ
方針ガ人ニ依ツテ寛大ニナツテ、許可スル
方ニモサレル方ニモ、兩方カラ時ガ移リ、歲
ガ變ル度ニサウ云フ風ニナリ易イ、自然是
ガ殖エテ來テ、十年、二十年ノ暁ニ、一旦
定メラレタ法規ハ容易ニ改正スルコトが出
來ズシテ、遂ニ今日ノ計理士ノヤウナ狀態
ニ陥リハシナイカ、斯ウ云フ懸念モ多分ニ
アル、モウ少シ資格ヲ嚴選サレタラ宜クハ
ナイカト考ヘラレルガ、此ノ邊ノ御考ヘハ
如何デアリマスカ

次ニ御伺ヒスルノハ、辯護士ハ御承知ノ通ヒ得ル、辯護士法第一條ニハ斯ウ云フ風ニ書イテアリマス、無論御承知デセウガ、念ノ爲ニ讀ンデ見マス「第一條辯護士ハ當事者其ノ他ノ關係人ノ委嘱官廳ノ選任ニ因リ訴訟ニ關スル行爲其ノ他一般ノ法律事務ヲ行フコトヲ職務トス」斯ウ云フ風ニ書イテアル、一般法律事務ハ何デモ出來ルノガ辯護士デアル、又辯護士ニアラズシテ辯護士業ヲ營ムモノハ別ニ私ニ辯護士業ヲナストシテ取締法ガアリマス、ソレデアリマスカラ從來辯護士ハ此ノ法規ニ依ツテ一般法律事務トシテ税法ノ事件ヲ扱ツテ居ツタノデアリマス、多クノ辯護士ノ申ニハ、無論税法ニ精通シタト云フ者ハ數ガ少クテ、大部分ハ其ノ方ノ知識ガ薄イノデアリマス、併シ先刻申シマシタヤウニ民法、商法或ハ訴訟法ト云フ方ニハ無論専門ノ知識ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ税法上ノ審査請求ラシ、或ハ訴願ヲ提起スルト云フ時ニ實體法ニ基イテヤルコトガ澤山アル、計理士ハ單ニ計數上ノ方カラ行キマセウ、普通ノ辯護士ガヤル時ニハ實體法ノ法規カラ持ツテ行キマス、其ノ時ニ此ノ案ニ依ルト許可デナケレバイヤス、斯ウ云フコトニナル、ヤラレヌト云フ鑑定ダケハ宜イト云フコトニナルヤウデアリマスガ、鑑定ニ基イテ書類ノ作製或ハ審査請求ヤ訴願ガ出來ヌ、其ノ書類ハ實體法ニ基ク知識、理論カラ來ルノデス、ソレマデモ出來ナイト云フコトニナツテハ、甚ダ變ナモノニナル、殊ニ是等ハ會社ニ關スル法規ニ基クモノガ可ナリ多イノデアリマス、所得稅ノ異議トカ、或ハ訴願ト言ウテモ、

大部分ハ會社法ニ基クモノデス、是ハ商法ノ會社法ヲ辨ヘナケレバ普通ノ人ニハ分ラナイノデス、之ヲ辯護士ガ扱ツテ居ル、ダカラ既ニ辯護士法ニ依ツテ仕事ヲナシテ居承レバ辯護士ノ中テモ税法ニ知識ノアリ、経験ノアル者ハ許シ、其ノ他ノ者ハ許サヌツタ者ノ既得權ヲ奪フコトニナル、先刻モト云フ御話デアリマスガ、民法、商法ノ専門ノ知識ヲ持ツテ居ル者ハ出來ス、是ハ一寸變ナコトニナル、所謂既得權ノ侵害ト云フコトニナル、是ガ出來ルト云フコトニナレバ、一般民事ヲ扱ツテ居ル辯護士ガ願ヒ出レバ皆許サナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマスガ、其ノ邊ハドウナリマスカ
○池田(勇)政府委員 辨護士ハ一般法律事務ヲ行ヒマスルガ、辯護士ノ特權ト認メラレモノハ、訴訟事件或ハ非訟事件、紛議ノ調停トカ、代理、和解等ヲナスノガ辯護士ノ特權デアリマシテ、其ノ他ノ一般法律事務ニ付キマシテハ、辯護士デナグテモ誰デモ出來ルコトニナツテ居ルト心得テ居リマス、隨ヒマンテ辯護士ガ一般法律事務トシテ、税法ノ鑑定ヲスルコトハ辯護士ノ當然ノ仕事トシテ出來マスルガ、鑑定ヲ越エテ、此ノ代理士法ニ掲ゲテ居リマス所ノ、審査ノ請求、訴願ノ提起其ノ他稅務官廳ニ提出スル書類ヲ作製スルコトヲ業トセラレハ、是ハ稅務代理事業ヲヤツテ居ナガツタラド許可ヲ得テ貰ハナケレバナラナイコトニナツテ居ルノニアリマス
又モウ一つノ稅務代理士ノ資格トシテ、辯護士ハ規定シテアルケレドモ、辯護士ガ從來稅務代理事業ヲヤツテ居ナガツタラドウカ、斯ウ云フ御問ヒニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、從來ヤツテ居ナク

テモ、其ノ人ガ相當ノ會計事務ニモ或ハ稅法ニモ、又民法、商法ノ方ニモ非常ナ經驗ヲ持ツテ居ラレマシテ、稅務代理士トシテノ資格ガアルト認メタ時ニハ、從來營業トシテ居ラレルコトノ有無ヲ問ハズニ許可スル方針デアリマス

○岡本委員 御答辯デ餘程輪郭ハ分リマシタガ、一般法律事務ヲナスノニモ、所謂業者スルノハ辯護士デアル、普通ノ人ハ業トシスルコトハ出來ヌト思フノデス、尤モ辯護士ノ取締ニ關スル法律ニハ訴訟事件、非訟事件ト云フヤウナコトヲ列記シテアリマス、只今ノ御答辯ダト云フト、訴訟事件、非訟事件ノミヲナスノガ辯護士ノ特權デアル、其ノ他ノ一般法律事務ト云ブモノハ、辯護士ニアラウト、辯護士デナクテモ出來ル、如何ニモ其ノ解釋ハ立チマスカモ知レマセヌガ、是ハツハ業トスル者ト業トシナイ者ガ出テ來ル、ダカラ辯護士ハ其ノ方デ業トシテ居リマスマイ、サウ云フヤウナコトヲ思得ノ所得稅ガ課カツテ來マス、恐ラク他ノ者ガヤツカラ迎モ事業所得ノ所得稅ナドハ課カリマスマイ、ウテ來ル時ニ今ノ御答辯デハ如何カト思ヒマス、ソレカラ尙ホ今ノ御答辯デハ辯護士ガ實體法ノ知識ニ基イテ訴願トカ或ハ審査請求トカ云フモノヲ偶々ヤルノハ差支ヘナリ、所謂業トシテヤルナラバ此ノ稅務代理士法ノ許可ヲ受ケタ代理士業デナケレバインカヌガ、偶々ヤルノハ差支ヘナイ、ソレノミニヲ専門ト言ウテハ語弊ガアルガ、ソレノミヲ繼續シテヤラナケレバ宜イ、斯ウ云フコトニナツテ來ル、其ノ點ハ如何デスカ

○池田(勇)政府委員 一般法律事務ヲ取扱

第三類第十一號 日本書籍會社印行
フコトニ付キマシテハ相當研究ヲ要スルノ
デアリマスガ、唯辯護士ハ一般法律事務ヲ
取扱フコトヲ公認セラレテ居ル、斯ウ云點
ハ、他ノ辯護士以外ノ者ガ法律事務ヲ偶
ヤルコトトハ違ツテ居ルト思フノデアリマ

第二ノ黒島ニ、辯護士ガ偶審査請求或ハ訴願ヲ提起スルコトハ、税務代理士法ニ抵觸スルカ否カト云フ御問ヒデアリマスガ、此ノ「業トス」ト云フコトヲドウ云フ標準デ見ルカト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアリマ

シテ、一般的ニ、或ハ抽象的ニ決ヌルコトハ非常ニ難カシイノデアリマス、吾々トシテハ、具體的ノ事實ヲ捉ヘマシテ、業トシテ居ルカドウカラ認定シテ行キタイト思フノデアリマス、隨ヒマンシテ偶々辯護士ガ特殊關係ノアル人カラ依頼セラレタ、サウシテ審査請求、訴願ノ提起ヲシタ場合ニハ、稅務代理士法ノ業トスル者デハナイト云フ解釋デ居リマス

理士デ税法上ノ知識ヲ持チ、是マデ其ノ事ヲ扱ウテ來タ者ハ許可スルト云フ御方針デアルト云フコトヲ承リマシタ、所ガ辯護士トカ計理士ハ税務代理人トカ税務相談所トカ云フ札ヲ掲ゲテ居リマセヌ、サウ云フ資格ノナイ者ダケガ札ヲ掲ゲテ現ニ其ノ仕事ヲヤツテ居ルヤウデアリマス、サウシマスト辯護士、計理士ガ申請ヲシタ場合、現ニ其ノ仕事ヲヤツテ居ツタカ、ヤツテ居ラナカツタカト云フコトハ、ドウシテ御判断ヲナサルカ、或ハ履歴書デモ申請書ニ添付サセテ、其ノ履歴書ダケデ御覽ニナルノカ、其ノ履歴書ノ御審査ガアツテソレヲ許可スルノカト云フコトト、モウ一ツ其ノ裏カラ

見マシテ、現ニ稅務代理人トカ、稅務相談所トカ云フ札ダケ掲ゲテ居ツテ實際ハヤツテ居ラナイ、斯ウ云フモノモ幾多アラウト思ヒマス、自分ノ生活ニ餘力ガアレバ、何カ職業ガナケレバナラスト云フノデ、單ニ札ダケ出シテ居ツテ、實際ハヤツテ居ラナイ、偶ニボツリトヤツテ居ル、斯ウ云フモノガアル、兩方面カラ見テ、其ノ御許可ハドウ云フ風ナ扱ヒヲナサルノカ、承リタイ〇池田(勇)政府委員 申請ヲサレタ辯護士ノ方ノ履歴書ハ勿論デアリマスガ、色々ナ事件簿、或ハ其ノ他ノ關係書類ニ依リマシテ、稅務官廳ヲシテ篤ト調查サセタイト考ヘテ居リマス、其ノ方ガ稅務代辦業ノ看板ヲ掲ゲテ居ルカ、掲ゲテ居ラナイカト云フコトニ依ツテ判斷スペキデハナイト思ツテ居リマス、看板ヲ掛ケテ居ルカラ直グ許可スル、看板ヲ掛ケテ居ルナカ居ナイカト云フ絶對的ノ條件ニハ使ヘナイト考ヘテ居リマス〇岡本委員 宜シク實地ノ許可ノ時ニ當ツテハ、間違ヒノナイヤウニサランコトヲ願ツテ置キマスガ、辯護士ハ事件簿ヲ作ラニケレバナラスト云フコトハナイヤウデス、辯護士法が出来マシタ時分ニ、此ノ事件簿ヲ必ズ作ラナケレバナラヌカドウカト云フハアルト云フヤウナノハ、是カラ他ノ方面要求シテ居ナイノデス、ソコデ實際事件簿ヲ御調ベニナツテモナイ、併シヤツタコトコトガヤカマシク言ハレタガ、ソコマデハ御調査ナサイマスカ知レマセヌガ、實際ニ誤リノナイヤウニ御願ヒヲ致シマス次ニ御尋ネシタイノハ公益ノ財團法人或ハ社團法人デ行ツテ居ル稅務協會トカ、或

ハ税務懇話會ト云フヤウナモノガアルノデ
アリマス、即チ是ヘ會員組織デ一年ニ一定
ノ會費ヲ出シ、サウシテ纏メテヤツテ居ル
ト云フノガアリマス、現ニ郵船「ビル」ノ六
階カ七階カニサウ云フ事務所ヲ持ツテ居リ
マス、斯ウ云フ公益ノ社團法人ナリトシテ
アルモノハドウ云フ風ニ御取扱ヒニナリマス
スカ、現ニ立派ニヤツテ居ルノデス、幣害
モ何モナインデアリマスガ、是ハドウ云フ
風ニ御取扱ヒニナリマスカ

○池田(勇)政府委員　社團法人デアル所ノ
税務懇話會ニ付キマシテノ御質問デアリマ
スガ、社團法人タル税務懇話會ハ公益法人
デアリマスカラ、主トシテ會員ノ相談ニ應
ジテ居ルヤウデアリマスガ、假令一般人ノ
稅ニ關スル相談ニシマシテモ、税務代理
士法ハ適用ニナラナイト考へテ居リマス
○岡本委員　サウ致シマスト代理士會ニモ
加入シナクテモ宜イ、全ク別ナモノトシテ
治外法權的ニ扱フ、斯ウ云フ扱ヒニナリマス
スカ、サウナリマスト高イ會費ヲ徵收シテ
之ニ携ツテ居ル理事トカ或ハ監事トカ其ノ
他ノ事務員、斯ウ云フモノハ可ナリ高級ヲ
貪ルト云フヤウナ幣害ガ出テハ來マスマイ
カト思フ、其ノ點御取締リニナリマスカド
ウカ、又御取締リニナリマスナラバ其ノ方
法ノ根據、ドウシテ御取締リニナルカト云
フコトヲ御尋ネシタイ

○池田(勇)政府委員　税務懇話會ノ取締ニ
付キマシテハ過去ノ取締ヨリモ一層嚴重ニ
致シマシテ、會費ノ引下グ其ノ他凡ユル監
督方法ヲ執ツテ行キタイト思ヒマス、元來
税務懇話會ハ税務ノ相談ニ應ズルコトハア
リマスルケレドモ、是ハ主トシテ税法ノ實
及宣傳ヲ目的トシタ所ノ公益法人デアリマ

ス、内務、大藏兩大臣ノ監督下ニ置カレテ
居ル所ノ法人デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ
大藏省ト内務省ガ十分監督シテ行ケバ、其ノ他財務
ノ本來ノ目的デアル所ノ税法、其ノ他財務
法規ノ普及宣傳ヲ十分サシテ行クコトガ出
来ルト思フノデアリマス

○岡本委員 公益法人ノ扱ヒ方ハ御答辯ハ
ソレデ一應御尤モト思ヒマス、併シ實際ニ
於テノ例ヲ見マスト、獨リ内務省、大藏省
トハ申シマセヌ、各省ノ下ニ於テ隨分澤山
ノ公益法人ガアルノデス、主務官廳トシテ
監督スルノ權限ニハナツテ居ルケレドモ、
事實ニ於テ監督サレテ居ルコトハ殆ドナ
イ、是ガ實際ノ例デス、又府縣令其ノ他ニ
依ツテ色々カイ事業ノ報告トカ、或ハ
收支ノ決算トカ云フヤウナモノモ、主務官
廳カラ報告ヲ要求サレテ居リマス、其ノ報
告スラ出サナイ、ヤリ放シデアル、斯ウ云
フモノガ隨分澤山アルト聞イテ居リマス、
寧ロ實際カラ言ツタナラバソレ等ノモノノ
中デ報告ヲ出ス者ハ、少イノデヤナイカト
私ハ推量シテ居ル位デアリマス、又事實主
務官廳ニ於キマシテモ、戰時ノ時代ニナル
ト益、手ガ足リヌ爲ニ到底手ガ及バヌ、斯ウ
云フコトデ、實際ノ公益法人ノ監督ト云フ
モノハ、ナイト言ツテモ宜イ位デアリマス、
偶ニ問題デモアリ違法ナコトデモ生ジタ場
合ニハ、其ノ問題グケヲ出タ後カラ行ツテ
ツツク、サウ云フヤウナ實情デハナイカト
思フ、斯ウ云フ弊害ニ陷ラナイヤウニ願ヒ
タイ、是ハ稅務代理士ト殆ド同ジ仕事ヲ扱
ツテ居リマス、表デ言フノハ稅法ノ普及デ
アリマスケレドモ、事實ノ仕事ニ於テハ殆
ド區別ガナイ、斯ウ云フ弊害ニ陷ラナイヤ
ウニ御注意願ヒタイト云フコトト、今ノ稅務

立派ナ人ガヤツテ居ルナラ是ハ宜シイ、名
古屋、大阪、廣島トカ云フヤウナ地方ニ其ノ
出張所ト云フカ、別ニ事務所ヲ作ツテ居ル
ガ、之ニナリマスト可ナリ怪シイト云フ風ニ
聞イテ居リマス、行ツテ聽イテ見テモ一向分
ラナイ、稅務代理士ノ方ガ能ク知ツテ居ル、
稅法ノコトハ實際知ツテ居ナイヤウナ者ガ、
出張所トカ何トカ云フヤウナ名義デヤツテ
居ル、サウ云フ實情ダト云フコトヲ聞イテ
テ居リマスガ、是モ併セテ御取締リニナラ
ヌト弊害ヲ起シテ、後日正當ナ業務ヲヤツ
テ居ル、稅務代理士ノ方カラ色々苦情ガ出マ
スカラ、其ノ御覺悟デ御取締ヲ願ツテ置キ
マス、ソレト同時ニ御伺ヒシタイノハ、將
來斯ウ云フモノガ出マシタラ、主務官廳トシ
テ御許可ニナルカドウカ、名古屋トカ大阪
トカ京都トカ神戸トカ云フヤウナ大都市ニ
ハ、自然斯ウ云フモノガ出テ來ルカト思フ
ノデアリマス、稅務代理士トシテハ資格ノ
ナイ者ガ、事務員トカ使用人ニナツテヤツ
テ行クト云フコトガ、事實ニ於テ出來ハシ
ナイカト云フ虞ヲ持ツテ居リマスガ、將來
ノコトハ御許可ニナルカドウカ、此ノ點モ
御伺ヒ致シマス

○岡本委員 稅務懇話會ダケデ結構ダト思ツテ居リマス
ノ資格ヲ認メラレナイカラ税務代理士トハ
ナリマスマイ、是ハ宜シイガ併シ税務代理
士ノ事務員ト云フモノハ、是ハ使ハレルコ
ドハ差支ヘナイト云フ風ニ考ヘマズガ、其
ノ通リデスカ

○池田(勇)政府委員 法規上バ御説ノ通り
デアリマス、併シ税務代理士カラハ使用人
名簿ヲ出サセル考ヘデ居リマスカラ、或ル
程度ハ間接的ニ制限出來ルカト考ベテ居リ
マス

○岡本委員 先刻御話ノ出マシタ事務所ノ
コトデスガ、此ノ法規デ見マスト事務所ノ
制限ガアリマセヌ、二箇所デモ三箇所デモ
四箇所デモ、ドレダケデモ事務所ガ出來ル
ヤウニナツテ居リマス、サウシマスト所謂
出張所トデモ申シマスカ、東京ニ本據ヲ置
イテ名古屋ニモ大阪ニモ京都ニモ其ノ名義
デ以テ事實ヤランテ居ル、實際カラ申セバ
中々一人デ出張所ヲ幾ツモ持ツコトハ出
來マセヌ、一ツモ持ツコトハ出來ナイト思
フ、是ハ税務代理士タル人ノ信用ノ問題デ
アル、而モ其ノ人ガ居ラヌト云フコトニ
ルト、幾ツカ事務所ヲ持ツト一月ニ一遍力
ニ遍カ顔ヲ出シタダケデ、アトハ事務員方
ヤツテ居ルト云フヤウナ弊害ニキツト是ハ
陥リマス、ソレデスカラ辯護士法デハ事務
所ハ一箇所、但シ他ノ法律事務所デ事務ヲ
扱フノハ差支ヘナイ、斯ウ云フ風ニ辯護士
法ニハ規定ニナツテ居ルカト思ヒマス、言
葉ハ少シ惡イカラモ知レマセヌガ、所謂モ
グリノ跋扈シナイ爲デアリマス、是ハ永年
厳守シテ居ルカラ所謂非辯護士ガソコニ入
ル餘地ハナイ、斯ウ云フコトニナリマスガ、

ガ宜カラウ、キツト弊害ガ出ルト思ヒマス
ガ、此ノ點ハナゼ御制限ナサラナカツタカ、
何レ辯護士法等ヲ御參照ニナツタコトト思
ヒマスガ、ソレヲ伺ヒマス
○池田(勇)政府委員 辯護士法ノ事務所ニ
關スル規定ハ御説ノ通リデアリマスガ、稅
務代理士ノ事務所ノ制限ヲ置カナカツタ理
由ハ何處ニアルカ、斯ウ云フ御問ヒデアリ
マスガ、第一ハ從來稅務代理士デ大阪、東
京掛持デヤツテ居ル方モ相當アルノデアリ
マス、サウ事フ風ナ人ヲ一ツニシロト制限
スルノモ少シ酷デハナイカ、又第二ノ點ハ
御話ノモグリナドノ存在ヲ許スヤウニナリ
ハシナイカ、斯ウ云フコトデアリマルガ、
辯護士トハ違ヒマシテ、稅務代理士ハ使用
人ノ行爲ニ對シテ責任罰ノ規定ヲ置イテ居
リマス、隨ヒマンテ稅務代理士ハ變ナ使用
人ヲ雇フコトモ出來ネイ、斯ウ云フ實情ニ
アリマスノデ、時々行ク事務所ニモシツカリ
シタ使用者人ヲ置イテ居レバ、サウ變ナ事件
ハ起サナイノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘフ
持ツテ居リマス、又使用者人ニ付キマシテハ、
先程申上ゲマシタヤウニ使用人名簿ヲ出サ
セマシテ、間接ニ稅務署或ハ財務局ガ監督
シテ行ク方針デアリマスノデ、事務所ヲ設
ケタカラト申シマシテ非常ニ弊害ヲ醸ス憂
ヒガ多分ニアルトハ考ヘラレマセヌ
○岡本委員 東京、大阪掛持シテ居ル者ガ
アルカラ、ソレヲ俄カニ一箇所ニスルト云
フコトモ殘酷デアルト云フノデ、此ノ事務
所ノ數ヲ御制限ニナラナカツタト云フコト
デアリマスガ、是ハ辯護士法デモ施行ノ際
ハ同様デアリマス、幾ツカ出張所ヲ持ツテ
居ツタノガ遂ニ一ツニ制限サレタ、殊ニ東

北地方ノ如キ交通不便ナ所ニアツテハ益々サ
ウ云コトガアツタ、地方裁判所ノ所在地ニ
一ツ、其ノ支部ニ一ツ、區裁判所ニ一ツト
カスウ云フモノガ澤山アリマシタ、一ツ
ヤニツデハアリマセヌ、之ヲ全部皆一箇所
ニ整理サレテシマツタ、デスカラ一人デ掛
持ト云フコトハ、是ハ御許シニナルトキツ
ト弊害ガ出ルカラ、多少氣ノ毒デハアルケ
レドモ、一刀兩斷ニオヤリニツタラ宜カ
ラウト思ヒマス、是ハ私ノ意見ダケデアリマス
マス、現ニ先刻來質問ヲ重ネタ如ク、辯護士
士ハ今マデヤレテ居ツタコトガヤレナイ、
是ハ多クノ者ガサウデアリマス、ソレナラ
バ二箇所ヲ一箇所ニセヨト言フ位ノコトハ
サシタルコトデハナイト思ヒマス、是ハ私
ノ意見デスカラ今ハ是レ以上ハ申シマセヌ
最後ニ極ク簡單ナコトヲ一ツ御尋ネシトハ
置キマスガ、行政訴訟ニ付テハ、別ニ稅務
代理士ハ出來ルトモ出來ヌトモ何モ規定ガ
ナイ、是ハ第一條括弧ノ中ニ「行政訴訟ヲ
除ク」トアリマスカラ、除カレタグケデ、卓
來ルカ出來ヌカ是ハ分リマセヌ、辯護士ニ
ハ是ハ制限ナナイヤウデアリマス、ソコデ
行政訴訟ハ御承知ノ通り辯護士デモ許可ガ
要リマス、勿論辯護士タル以上ハ資格ガア
レバ殆ド皆許サレマス、未ダ曾テ不許可ト
云フコトハ聞キマセヌ、自然稅務代理士モ許
可ガアレバ行政裁判所ノ方デモ許可
スル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、サ
ウスルト此處デハ折角稅務代理士ト云フモ
別ノ資格ガアレバ行政裁判所ノ方デモ許可
スル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、サ
ウスルト此處デハ折角稅務代理士ト云フモ
ノハ審査請求ヤ或ハ訴願ノ方ノ書類作製ヲ
ナス代理フルト云フダケニ制限サレテ居
ルガ、行政訴訟ニ行ツテ今度辯護士ヲ選ブ

ノツテ來ルヤウデアリマスガ、是ハ何カ行政裁判法ナリ、行政裁判所ノ方ト起案スル

○由谷委員長 午前ニ引續イテ委員會ヲ開
キマス——瀧澤七郎君

ダケ申上ゲマシテモ、非常ニ民衆ハ困ツテ居ル、例ヘバ私ニ致シマシテ昨年度ニ五万

デ還付スルンダト云フ手續ヲスベキナノニ、願書ヲ書カナケレバナラヌ、辨理士ノ

ツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點ハドウナ

居リマスガ、所得調査委員ナドニ「多年ノ経験」トアリマスガ、多年ト云フコトハ一期以

由ツテ來ル原因ハ、非常ニ待遇ガ惡イ爲ニ、少シク價レタ吏員ハ全部出テシマツテ稅務

○池田(勇)政府委員 行政訴訟ニ付キマシテハ辯護人トシテハ行政裁判法十四條ノ規定ニ依リマシテ認許ヲ受ケタ辯護士ノミガヤリ得ルコトニナツテ居リマス、隨て税務代理士ハ辯護士タル資格ヲ持ツテ居ナケレバ、行政訴訟ノ辯護人トナルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、尙ほ訴訟ノ代理ニ付キマシテ、業トシテハ、ナシ得ヌノデアリマスガ、偶特定ノ訴訟ニ付テ特殊ノ關係ヲ有スル場合ニ税務代理士トシテノ資格ニ於テデハナク認メラレルコトハアリ得ルト思

○池田(勇)政府委員 所得調査委員が一期内
即チ四年間調査委員ヲ勤メタ場合ハ経験ア
ル者トシテ資格ヲ有スルカ、斯ウ云フ御問ヒ
デアリマスルガ、此ノ資格ニ付キマシテハ必
ズシモ年限ニハ依リマセヌノデ、其ノ人ノ
能力ヲ能ク審査シナケレバイカスト思フノ
デアリマス、隨ヒマシテ一期勤メラレタ方
デ十分資格ノアル方モオアリニナリマセウ
シ、又二期勤メテモ其ノ任デナイ人モ或ハ
アルカモ分ラヌト思フノデアリマス、一概

○岡本委員　或ハ私ノ誤解カモ知レマセヌ
ガ、
〔譯〕護士モ許可ガ要リマス、現ニ私ハ許

○龍澤委員　ソレカラ是ハ此ノ委員會ニテ述
ヲ決スル譯ニハ行カナイト思ヒマス・

可ヲ貰ツテヤツテ居リマス、辯護士モ、勝手ニハ出來ナイ、茲ニ資格ヲ認メテ、サウシテ許可ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、私ハ事實ヤツテ居リマスガ、或ハ辯護士デナイ者デモ、親族トカ縁者トカ何カ特殊ナ關係ガアレバ、行政裁判所デ許ナシマス、所ク云フヤクニ弘ノ實益デ、覺

ベテ宜イカ惡イカ分リマセヌガ、ヤハリ稅ニ關係スル特別ナル委員會ノ席デアリマスカラ、私ハ此ノ機會ニ於テ申上ゲテ、サウシテ能ク次官大臣ニモ御詰ヲ願ヒマシテ、改メテ戴キタイ、ソレハ稅務代理士ト云フモノヲ設ケラレタコトハ、稅務代理トシテ非常ニ士真ガ直エテ參ツタコトガ一番ノ原因

サレマス、斯ウ云フヤウニ私ノ實驗デハ覺
エテ居リマス、是ハ強ヒテ今デナクテモ宜
シウゴザイマス、後デ御研究ヲ願ヒタイト
思ヒマス

常ニ仕事ガ殻エテ參ツタコトガ一番ノ原因
デアル、ソレニ依ツテ此ノ法案ガ制定サレ
ルヤウニナツタト思フノデアリマスハ、ソレ
ハ今日ノ稅務當局ノ人手ノ足リナイト云フ

○由谷委員長 ソレデハ午前ノ委員會ハ此ノ程度デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

ニトソレカラ税務官吏ノ待遇が惡イニト
是ガ一番税務代理人ヲ必要トスルコトニナ
ツテ參ツタ原因デアルト私ハ思フノデス、

午後零時十分休憩

色々人ノコトヲ申上ゲル材料ハ澤山アリマ
スケレドモ、今日此ノ席デ左様ナコトヲ申上
ゲルコトハ避ケテ置キマスケレドモ、唯一例

テ貴ヒタイト願書ヲ出サナケレバナラナイ
ト云フコトデアル、是ハ間違ツタモノデア
ルカラ、願書ヲ出ス出サヌニ拘ラズコチラ

ツテイラツシヤルカ御伺ヒシタイト思フノ
デアリマス

般的ニ激増シタコトハ御話ノ通リデアリマス、殊ニ税務官廳ニ於キマシテハ、數次ノ増稅ニ依リ納稅人員が多クナツタノト、又戰時下ノ收入增加ニ依リマシテ非常ニ納稅人員モ殖エテ參リマシタ、之ニ正比例致シマシテ税務署ノ官吏ノ人員ガ殖エ、又其ノ官吏ガ熟練シテ參リマスト結構ナノデアリマスルガ、御話ノ通り退官者モ相當アリマシテ、只今ノ税務署ノ人並ニ其ノ人ノ質ハ安心出來ナイ點モ間々アルノデアリマス、隨ヒマシテ御話ノ通りニ誤謬缺陷ガアルトカ、或ハ無理ナ税金ヲ取ツタ場合モ數ノ多い中デアリマスルカラ相當程度アルカトモ思ツテ居リマス、併シ吾々致シマシテハ、出來ルダケ人員ノ増加ヲ圖リ、又税務官吏ノ素質ノ向上ニ付キマシテ非常ニ努力シテ相當人員モ殖エテ參リマシタ、又素質ノ向上ニ付キマシテモ、昨年來税務官吏講習所ヲ設ケマシテ、サウシテ一年間之ニ税法竝ニ一般法律ノ知識ヲ與ヘ、又各財務局ニ於キマシテモ出來得ル限り、現在ノ税務官吏ノ講習ヲヤリマシテ、素質ノ向上ヲ圖ツテ居リマス、ココ數年經チマスレバ非常ニ素質ノ良イ税務官吏揃ヒニナルコトと思ツテ居リマス、下級税務官吏ノ待遇問題、或ハ人員ヲ增加スルコトニ付キマシテハ私カラモ大臣ニ御傳へ致ス考ヘデアリマス

○瀧澤委員 只今改善サレル方策ヲ能ク講ジテ居ラレルト云フコトデ、洵ニ結構ナコトデアリマス、唯往々ニシテ若イ人達デアリマスカラ、ツイ權力デ、檢事カ刑事ガ惡イ者ヲ押ヘ付ケルヤウナ態度デヤラレルト云フコトヲ泣イテ懇ヘテ來ル者モアリマス、デカラ講習ヲサレルト云フヤウナ上ニ於テハ啻ニ數字上ノコトバカリデアリマセヌ、行ク所以ダ、斯ウ私ハ深ク信ジテ居リマス、ソレカラ下級吏員ノ待遇改善ハドウシテモ行ク所以ダ、斯ウ私ハ深ク信ジテ居リマス、唯數年來或ハ十年來、人員ノ揃ツテ行ク所以ダ、斯ウ私ハ深ク信ジテ居リマス、ソレカラ下級吏員ノ待遇改善ハドウシテモヤツテ戴カナケレバナラナイコトデアリマス

○北(時)委員 一寸關聯シテ——只今瀧澤委員カラノ質問ガアリマシタガ、税務署ノ官吏ノ素質ガ惡イト云フコトハ吾々モ痛感スルノデスガ、是ハ税務署ニ限ツテ居ルコトデナ、鐵道ノ從業員モ遞信省ノ從業員モ素質ハ劣ツテ居ル、一般デスカラ茲デ云フノハ如何カト思フガ、過日豫算委員會ニ於テ瀧澤委員カラ要求シテ、官公吏ノ收賄事件ト云モノニ付テ人員調査ヲヤツタノデスガ、其ノ時ノ數ガ内務省ト大藏省ノ官吏ガ一番多い、大藏省ハ十五年三百六名起訴サレテ居リ、十六年ニハ八十一名デ、只今ノ御話ノ件ト云フノモニ付テ此處デ申上ガテ置キタケレドモ、改メテ此處デ申上ガテ置キタノハ、税務懇話會ノ報酬問題デアリマス、東京御話ノヤウニ、官吏モ素質ガ段々改善サレテ居ルト云フコトハ二十名減ツテ居ル點カ考ヘラレルカモ知レマセスガ、聽ク所ニ依ルト、大藏省關係ノ官吏ニ瀆職事件ガ非ソレカラモウ一つ此ノ際伺ヒタケレドモ、改メテ此處デ申上ガテ置キタノハ、税務懇話會ノ報酬問題デアリマス、

○瀧澤委員 實ハ先程御伺ヒシテ置キマシテ居リマスガ、サウ云フ事實ハヨザイマスカ、御定メ内務省ノ非常ニ多イノハ、地方ノ府縣ニ多イ、常ニ多イノハ、多ク收稅更關係ダ、是ハ下級官吏ノ持ツテ居ツテ、ソレガ爲ニ色々ノ惡影響ヲ他ヘ及ボシタヤウナコトモアリマス、併シ今度ハ十分御取締ニナルト云フコトデアリマスカラ結構ダト思フノデアリマス、此ノ代理業者ガ成功謝金ニ對シテドウ云フ風ニ謝金ヲ取ルカト云フコトハ、是カラ御定メニナルコトデアリマスガ、懇話會ノヤウナモノハ、此ノ時局ノ上カラ見マシテ、ドウカ此ノ代理業者ト變ラナイヤウニ十分ニ御取締ヲ戴キタイト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付テ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 一寸速記ヲ止メテ戴キ

○北(時)委員 宜シウゴザイマス

○瀧澤委員 實ハ先程御伺ヒシテ置キマシテ居リマスガ、淘ニ遺憾ナガラ大部分收稅官吏デゴザイマス

○山際政府委員 何ト申シマスカ、所謂開店休業、即チ依然銀行法上銀行ト云フ資格ハ持ツテ居リマスケレドモ、現實ニ營業致シテ居リマセヌ銀行ガ尙ホ存在致シマスコトハ御指摘ノ通リデゴザイマス、唯只今手許ニ資料ヲ持ツテ居リマセスガ、具體的ニ其ノ名ヲ舉ゲテ申シマスコトハ、實ハソレ等ノ銀行ノ中ニ於キマシテモ漸次更生整理ノ方法ガ立テラレツツアルノデゴザイマシテ、今後尙ホ更ニ發展スル可能性ノアルモノモ相當ヨザイマスル關係上、公ノ席ニ於テ申上ガ兼ネルコトニ致シタウゴザイマス、此ノ際ハ御勘辨ヲ願ヒタイト思ヒマス

○瀧澤委員 只今ノ御話ノ如ク成程是ハ一寸御話ニナルコトハ又色々ノ影響モアルカ

ト思ヒマス、私ハ別ニ關係モナイノデアリマスガ、信濃銀行ハ相當私共關心ヲ持ツテ

見テ居ルノデアリマス、細カク御話ニナルコトハ出來ナイトシテモ、今縣廳ナドモ一生縣命ニヤツテ居ラレルヤウデスガ、一體アア云フ銀行ハ更生シテ縣ノ爲ニ能ク働イテ行クコトガ出來ルヤウニナルデセウカ、是ハ影響スル所ガ多イノデアリマシテ、聞ク所ニ依レバ更生スルヤウニナツテ來タヤウデモアルシ、色々不安ニ感ジテ居ルヤウナコトガ多數アルモノニデスカラ、若シ速記ヲ止メテ御見込デモ聽カセテ戴ケレバ、私ハ大變結構ダト思ヒマス

○山際政府委員 所謂休業銀行ノ申ニ於キマシテ、政府其ノ他關係方面ガ相寄リマシテ、整理更生ノ計畫ヲ立て、其ノ實行ノ目途ノ付キマシタモノニ付キマシテハ、各方

面擧ツテ之ヲ更生サセルベク援助ヲ致シテ居ルノデゴザイマズ、御指摘ノ銀行ニ付キ

マシテ詳細ノコトヲ申上ゲルコトハ憚リマスケレドモ、政府ニ於キマシテ左様ナ方針ヲ取決メマシタモノニ付キマシテハ、萬

全ノ努力ヲ盡シマシテ、成立タセルコトニ盡力致シテ居ル次第ゴザイマス、其ノ程

度御聽取ヲ願ヒタウゴザイマス

○瀧澤委員 私ハ是ダケ伺ヘバ結構デアリマス

○由谷委員長 ソレデハ松田正一君

○松田(正)委員 他ニ通告モ致シテ置キマシタガ、マダ参考資料ガ参りマシタノデ、池田政府委員ニ議事進行上御伺ヒ致シテ置

キマス、速記ヲ調べニ参りマシタケレドモ、マダ出来テ居リマセヌガ、前ノ質問

答ノ中ニ、稅務署ニ申告スル場合ニ不誠實

ナルモノガ誠實ナモノヨリ比較的多い、斯

ウ云フ風ナ御答辯ガアツタヤウニ思ヒマス

ガ、不誠實ト云フ解釋ゴザイマス、是ハ

一割乃至二割ノ相違デアレバ、大體稅務署

ハ申告ヲ是認スルコトニシテ居リマス、併シ事實ヲ申シマスト、非常ニ懸離レタ數字

ノ申告ガ可ナリ多クナツテ居リマス、是ハ

イマスカ、不誠實ト云フノハ稅金ヲ免レル

方法ニ解釋シテ宜イノデスカ、今斯ウ云

偽ノ申告ト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザ

イフ時節デアリマスノニ、國民ノ三大義務ノ

居ル者ガ國民ノ中ニ多イ、斯ウ云フ風ニ解

釋サレルノカ、其ノ點ニ付テ解釋ヲハツキ

ヲ承リタイト思ヒマス

○由谷委員長 委員長カラ申シマスガ、只

今松田君ノ議事進行ニ關スル發言ハ御聽キ

ノ通リデアリマス、池田政府委員カラ御答

辯ガアレバ此ノ機會ニ御發表ヲ願ヒマス

離レテ、而モ稅務署ノ決定見込額ト申告ガ非常ニ懸

カラ稅務署ノ決定見込額ガ大體ニ

於テ適當デアツタ場合ニハ、誠實ト不誠實

トニツアルト思フノデアリマスルガ、若シ

誠實ト云フ言葉、不誠實ト云フ言葉ガ語弊

ガアリマシタナラ、始メ申シ上ゲタ意味デ

使ツタノデアリマスカラ、御諒承ヲ願ヒタ

イト思ヒマス

○松田(正)委員 政府ハ議會全般ノ空氣

ヲ見テ御答辯ヲ願ヒタイト希望シテ置

カ、或ハ合ハナイ數字ガ多イカ、其ノ合フ

合ハナイト云フノモ程度問題ゴザイマス

ルガ、非常ニ懸離レタ申告ガ多イカ、或ハ

近イ申告ガ多イカ、斯ウ云フ御問ヒニ答ヘ

ル場合ニ、合ツタ申告ヲ言葉ノ本來ノ意味

ニ於テ誠實ト言ヒ、合ハナイ申告ヲ不誠實

ト、斯ウ云フ風ニ聽エマシタナラバ、ソレ

ハ私ノ言ヒ方ガ惡カツタノデアリマス、私

ハアノ場合ニ不誠實ト云フ言葉ヲ若シ使ツ

ル見込ト、納稅者ノ申告ヲ非常ニ懸離レ

タル申告ガ數多イ、斯ウ云フ意味デアリマ

ス、其ノ際モ申上ゲマシタヤウニ、稅務署

デ見タ大體ノ見込金額ト納稅者ノ申告トガ

アルト云フノハ、是ハドウモ當ラヌ言葉デ

アラウト思ハレル、今日マデ稅務署ガ餘計

云フコトニ……

○由谷委員長 ソレデハ此ノ程度デ散會ト

○瀧澤委員 委員長、マダ時間ガアリマスカラ、今一點申上ゲテ置キタイコトガアリマスノデ……

○由谷委員長 ソレデハ瀧澤君

○瀧澤委員 斯ウ云フ所デ申上ゲルハド
ウカト思ヒマスガ、今誠實、不誠實ト云フ
御話ガ出マシタカラ、其ノ認定ト云フコト
ニ對シテ、誤ツテ認定サレテ困ツテ居ルト
云フコトノ實例ヲ御話申上ゲテ置ク必要ガ
アリマス、私ハ元來鑄物業者デアルガ、關
西方面ヲ廻ツテ見タ所ガ、五六人ノ徒弟ヲ
使ツテ居ル或ル小サナ工場ノ主人ガ差押ヲ
食ツタト言フ、ソコデ何ヲ差押ヘラレタノ
カト聽イテ見ルト、鑄物屋ノ一番必要ナ送
風機ヲ差押ヘラレタト云フコトデアル、鑄
物屋デハ是ガナケレバ全ク營業ハ出來ナイ
ノデアル、サウ云フ大切ナ物ヲ差押ヘタ、
ソコデコンナ小サナ工場デドノ位ノ稅金ヲ
取ラレルノデスカト聽イテ見ルト、ソレハ
非常ニ高イ稅金デアツテ私ハ驚イタ、ソコ
デ又私ハ、君ノ所ノヤウナ小サナ工場デ
ンナニ高イ稅金ヲ取ラレテ居ルガ、マダ他
ニコンナ所ガアルカト聽イテ見マスト、他
ニモアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角自分ニ
所デハ是ダケノ稅金ヲ取ラレテ居ルノデス
ト言フ、實際其ノ工場ノ取ラレテ居ル稅金
ト云フモノハ、他ト比ベテ非常ニ不當ナリ
ト思ハレル程高イモノデアツタ、ソコデソ
レヲ能ク調べテ見マスト、長イ間營業ヲシ
テ來マシテ——鑄物屋ニハ型粹ト云フモノ
ガアリマスガ、ソレハ僅カ一年ヤニ年ヤ
年位デハナク、ズツト前カラノ蓄積ニ依ツ
テ來居ルモノデアル、所ガ御得意様ニ
納メナケレバナラヌノニ、材料ガナクナツ
來タモノデスカラ、サウ云フ數年、十數年

ミ出サレテサウ云フモノガアルノデアル、
テシマフ、所ガサウシタ場合、ソレハ買ツ
タモノデハナイノデアルカラ仕拂ツタ場所
ガアリマセヌ、ソレハ今マデノ利益カラ生
其ノ前ノ年ノ利益ヲ胡麻化シテ置イタト云
フノデハナイ、ソレハ長イ間掛ツテサウ云
フモノガアル、ソレヲ賣ルノデスカラ支出
ガナクテ收入ガ多クアル、其ノ結果莫大ナ
利益ヲ舉ゲタヤウニ思ハレテ非常ニ高イ税
金ヲ賦課セラレテ差押ヲ食ツタ、サウ云フ
場合ニ私ノ方ハ今年ハ是ダケシカナイノデ
スヨト言フト、税務署ノ見込ト違ツテ誠實
ヲ缺イタ申告ノヤウニ思ハレル場合ガア
ル、サウ云フコトカラソレガ不誠實グト鑑
定サレルト云フコトハ、納稅者トシテハ非
常ニ迷惑ヲ蒙ルト云フ場合ガアルト云フコ
トヲ私ヘ申上ゲタイ、ソレカラ又モウ一ツ
ハ差押ヲ食フ時ニ、是ハ精神上非常ナ打撃
ナシデズ、他ノ筆箇ヲ差押ヘラレ、金庫ヲ
差押ヘラレルヨリモ、是ハ營業ノ主體トナ
ルモノデ、ソレヲ差押ヘラレテ使フコトガ
出來ナイト云フヤウナコトニナツタラ、何
ノ爲ニ税金ヲ納メルノカ、商賣ヲヤツテ居
ルカラ税金ヲ納メル譯デス、ダカラ差押ヲ
サレル場合ニ於ケル品物ニ付テモ十分考ヘ
テ戴キタイ、實際サウ云フコトヲサレルト
精神的打撃ハ大キイモノデス、今日ハ時間
署デ認メタノト懸離レテ居ルコトヲ以て不
誠實ダト云フ風ニ斷定サレルト甚ダ迷惑ニ
存ジマスノデ、其ノ點一ツ御参考マデニ由
上ゲテ置キマスカラ、サウ云フコトノナイ

○池田政府委員 誠實ナル申告ヲ御願ヒシ
マスルヤウ、常ニ稅務官廳カラ出シテ居ル
ノデアリマス、誠實ナル申告 不誠實ナル
申告ヲ稅務署ノ見方ニ基準ヲ置クト云フコ
トハ、是ハ妥當デアリマセヌ、先程ノ瀧澤
委員ノ仰ツタヤウニ稅法上ノ解釋ニ於キマ
シテ非常ニ違フ場合モ多々アルト思ヒマス、
併シ私ハ大體論トシテ申上げタノデアリマ
ス、又誠實ナル申告、不誠實ナル申告ヲ稅
務署ノ見方ダケニ依ルト云フコトハ、是ハ
當ラス點ガ多分ニアルト思ヒマス、唯私ガ
申上ゲマシタノハ申告ニ所得金額ヲ一ツモ
書カナカツタリ、或ハ相當從來納稅シテ居
ツテ、營業ニ激減ガナイニ拘ラズ、缺損申
告ヲヤラレル方ガ非常ニ多イノデアリマス、
斯ウ云フ場合ガ頭ニ響イタモノデザイマ
スカラ、ソレヲ見マシテ用語ハ穩當ヲ缺イ
テ居タカモ知レマセヌガサウ云フモノヲ不
誠實ト言ツタノデアリマシテ、先程申シマ
シタ稅務署ノ決定見込額ト非常ニ差ガアル、
ソレガ全部不誠實デアル、斯ウ云フ意味デ
ハアリマセヌ、最近納稅思想ハ非常ニ良ク
事變前ヨリハ格段ニ良クナツテ居リマス、
是ハ納稅者ノ誠意ノ逆リト思ツテ稅務當局
ハ非常ニ感謝シテ居ルノデアリマス、御言
葉ニ依リマシテ、今後ハ一層稅務官吏ノ納
稅ニ對スル態度ヲ懇切丁寧ニ致シマシテ、
納稅者ト稅務官廳トノ間ニ無益ノ紛爭或ハ
色ンナイザコザノナイヤウニ努力シテ行ク
積リデゴザイマス

テ喜ンデ働き、國家ノ爲ニモナリ又納稅者ノ身ニモナツテ、サウシテ圓滑ナル稅務ノ進捗ヲ圖ルヤウニ致シテ貴ヒタイト云フコトヲ一言申上ゲマシテ御願ヒ致シテ置キマス

○片山委員 質問通告ハシテ居リマセヌガ、一寸農村金融ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○片山委員 此ノ改正法案ハ農工銀行、勸業銀行、北海道拓殖銀行等ノ貸付關係ガ擴張ザレテ、農村金融方面ニ於テ戰時下ニ於ケル有效ナル働きヲサレルト思フノデアリマスガ、實際農村ノ經濟狀態ニ於キマシテ耕作致シテ居リマスル農民ニ對スル金融ガドウ云フヤウナ建前デ行クカト云フコトハ、農村經濟ノ上カラ申シマシテ非常ニ重要ナコトデアラウト思フノデアリマス、耕作農民ニ金ヲ貸付ケルト云フコトハ數ノ上カラ申シマシテモ、農產物ノ增産計畫ノ上カラ申シマシテモ、又農民ノ生活ノ向上ト云フヤウナ問題カラ申シマシテモ極メテ重要ナコトデアラウト思ヒマス、今マデハ農村ハ借金ニ惱マサレテ居ツタ、農民ハ全國デ六十億デアルトカ七十億デアルトカ云フヤウナ大キナ借財ノ爲ニ高利貸ニ惱マサレテ居ツタト云フヤウナ話ヲ能ク聞クノデアリマス、無盡デアルトカ、或ハ個人ノ金貸デアルトカ云フモノノ高利ノ爲ニ農民ハ非常ニ惱マサレテ居ツタ、事業家ニハ色々金融ノ機關ガアリマスケレドモ、實際鋤、鍬ヲ持ツテ働くイテ居リマスル農民ノ金融機關ト云フモノハ缺除シテ居ツタ、成行キニ放任サレテ居ツタ、是デハ甚ダ農村振興ノ上カラ申シマシテモ、増產計畫ノ上カラ申シ

第六類第十一號 日本勸業銀行法中改正法律案外五件委員會議錄

マシテモ面白クナイト思フノデアリマス、是等ニ對シテ農村金融ニ付テノ建前カラ大

藏當局ハドウ云フ風ニ今日マデ動イテ居ツタカヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○山際政府委員 農業者ニ對スル金融ノ疏

通ト云フコトガ農村ニ於ケル各般ノ政策ヲ進行致シマス上カラモ、又農民ノ生活ヲ向

上サセマス上カラモ極メテ重要ナ關係ガアリマスコトハ洵ニ御指摘ノ通リダト存ジマス、

其ノ見地ニ於キマシテ大藏省ニ於キマシテモ、從來トモ農村方面ノ金融ニ付キマシテハ其ノ疏通ニ付テ遺憾ナキヲ期シ、其ノ場

合場合ノ必要ニ應ジマシテ各種ノ措置ヲ講ジテ參ツテ居ルノデアリマス、根幹トナリ

マスル金融機關ト致シマシテハ、御承知ノ通リ産業組合ヲ中心ト致シマシテ農村ニ於

ケル金融ノ疏通ヲヤツテ居リマス、又銀行ト致シマシテハ各地方銀行、又茲ニ只今御審

議ヲ願ツテ居リマスル各種ノ不動産金融機

關、其ノ他或ハ無盡會社ノ方面デアリマス

トカ、各種ノ金融機關相寄リマシテ農村ノ

金融ガ圓滑ニ参リマスルヤウ從來トモ心掛

ケテ參ツテ居ルノデアリマス、其ノ他農村負債ノ整理デアルトカ、或ハ出征者等ニ對

シテ負債整理ノ促進ヲ圖ルトカ、各種ノ方策ガ講ゼラレテ居ルコトハ御承知ノ通リト思ヒマス、今回ノ不動產銀行ノ改正法案ニ於キマシテモ固ヨリ是等ノ不動產銀行ガ農

村金融ニ付テ十分其ノ職責ヲ果シテ參ルベキコトハ當然其ノ前提ト考ヘテ居ルノデア

リマス、今回ノ改正案自體ハ其ノ不動產銀行ノ持ツ餘力ヲ以テ聊カ他ノ方面ニモ貢獻

セサイト云フ考ヘカラ出發シタノデアリマスケレドモ、農村金融全體ノ問題ト致シマシテ、只今從來ノ方針トシテ申シマシタ所

ハ今後ト雖モ、其ノ儘從前通り實行シテ參

ルコトハ勿論デゴザイマス

○片山委員 在來ノヤウナ不動產ヲ持チ、

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○山際政府委員 只今申述ベマシタ如ク、

農村金融ノ方面ニ於キマシテ、何ト申シマシ

テモ、實際上中心トナツテ参リマスノハ、

産業組合系統ノ信用事業デハナイカト思ヒ

マス、是ハ御承知ノ通り、能クオ互ヒニ知リ

合ツテ居リマスモノガ、共同致シマシテ金

テモ、實際上中心トナツテ参リマスノハ、

産業組合系統ノ信用事業デハナイカト思ヒ

マス、是ハ御承知ノ通り、能クオ互ヒニ知リ

合ツテ居リマスモノガ、共同致シマシテ金

テモ、實際上中心トナツテ参リマスノハ、

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、併シナガラ都市ト言ハズ、農村ト言ハズ無盡ノ方式ニ依ル金融ノ適シマスル部面ニ於キマシテハ、相當之ニ依ツテ資金ノ融通ニル金融機關ト致シマシテハ、政府ノ方策トシテ無盡ナリ、其ノ他ニ任セ切リト云フ狀態デスカ、或ハ不動產擔保以外ノ無擔保者

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○片山委員 高利貸等ニ對スル取締ニ付テ、

特ニ農村ニ於テハ個人金錢貸借業トカ云フ

當ツテ貰ヒマシテ、金融ノ圓滑ヲ圖ツテ行

キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山際政府委員 只今申述ベマシタ如ク、

農村金融ノ方面ニ於キマシテ、何ト申シマシ

テモ、實際上中心トナツテ参リマスノハ、

産業組合系統ノ信用事業デハナイカト思ヒ

マス、是ハ御承知ノ通り、能クオ互ヒニ知リ

合ツテ居リマスモノガ、共同致シマシテ金

テモ、實際上中心トナツテ参リマスノハ、

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、

併シナガラ都市ト言ハズ、農村ト言ハズ無

盡ノ方式ニ依ル金融ノ適シマスル部面ニ於

キマシテハ、相當之ニ依ツテ資金ノ融通ニ

ル金融機關ト致シマシテハ、政府ノ方策ト

シテ無盡ナリ、其ノ他ニ任セ切リト云フ狀

態デスカ、或ハ不動產擔保以外ノ無擔保者

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○片山委員 高利貸等ニ對スル取締ニ付テ、

特ニ農村ニ於テハ個人金錢貸借業トカ云フ

當ツテ貰ヒマシテ、金融ノ圓滑ヲ圖ツテ行

キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山際政府委員 只今手許ニ資料モゴザイ

ス

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、

併シナガラ都市ト言ハズ、農村ト言ハズ無

盡ノ方式ニ依ル金融ノ適シマスル部面ニ於

キマシテハ、相當之ニ依ツテ資金ノ融通ニ

ル金融機關ト致シマシテハ、政府ノ方策ト

シテ無盡ナリ、其ノ他ニ任セ切リト云フ狀

態デスカ、或ハ不動產擔保以外ノ無擔保者

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

スガ、農村ニ於ケル個人金融ノ數字、無盡

關係ノ成績及ビ信用組合ノ貸借ノ數字等、

荒マシ分リマスナラバ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

スガ、農村ニ於ケル個人金融ノ數字、無盡

關係ノ成績及ビ信用組合ノ貸借ノ數字等、

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、

併シナガラ都市ト言ハズ、農村ト言ハズ無

盡ノ方式ニ依ル金融ノ適シマスル部面ニ於

キマシテハ、相當之ニ依ツテ資金ノ融通ニ

ル金融機關ト致シマシテハ、政府ノ方策ト

シテ無盡ナリ、其ノ他ニ任セ切リト云フ狀

態デスカ、或ハ不動產擔保以外ノ無擔保者

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

スガ、農村ニ於ケル個人金融ノ數字、無盡

關係ノ成績及ビ信用組合ノ貸借ノ數字等、

荒マシ分リマスナラバ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

ス

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、

併シナガラ都市ト言ハズ、農村ト言ハズ無

盡ノ方式ニ依ル金融ノ適シマスル部面ニ於

キマシテハ、相當之ニ依ツテ資金ノ融通ニ

ル金融機關ト致シマシテハ、政府ノ方策ト

シテ無盡ナリ、其ノ他ニ任セ切リト云フ狀

態デスカ、或ハ不動產擔保以外ノ無擔保者

事業ヲシテ居ルモノ以外ノ一般農民ニ對ス

ニ對スル金融ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ大

藏省トシテ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

スガ、農村ニ於ケル個人金融ノ數字、無盡

關係ノ成績及ビ信用組合ノ貸借ノ數字等、

荒マシ分リマスナラバ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○片山委員 只今手許ニ資料モゴザイ

スガ、農村ニ於ケル個人金融ノ數字、無盡

關係ノ成績及ビ信用組合ノ貸借ノ數字等、

ノ方策ヲ樹テ居ル譯デハゴザイマセヌ、

午後二時三十五分散會